



岩手県教育委員会

いきる かかわる そなえる

中学校用

改訂版

改訂版発行 令和2年4月1日

発行 岩手県教育委員会
岩手県盛岡市内丸10-1 (〒020-8570)
TEL: 019-651-3111 (代表)

表紙 藤城清治: 作
「陸前高田の奇跡の一本松」より



いきる かかわる そなえる
—— 中学校用 ——
改訂版

いきる かかわる そなえる

中学校用

改訂版

岩手県教育委員会

岩手県教育委員会

歩 (aruku)

グックル (吉留慎之介 / 平畑徹也)

作詞・作曲

平畑徹也

僕は歩く 立ち止まった人の分も歩いて
胸を張って声を出して 歩いてゆくんだ

悲しくて辛い時も 未来が見えない時も
ありったけの力込めて 理想を頭に浮かべろ

気持ちで負けたらあかんよ 一人で抱え込んだらあかんよ
自分が思ってるよりも 人は支えてくれるから

夢とか希望をバカにはできないよ 何度でも立ち上がれるよ きっと

僕は歩く 立ち止まった人の分も歩いて
みんな幸せな明日を探して

いつかは晴れる どんな雨も嵐も乗り越えろ
手を取り合って歩いて 歩いてゆくんだ

情報が入り乱れて 何も信じられなくて
人を疑ってかかる 自分が嫌になるけれど

信じれる人は必ずいるよ 何度でも支え合えるよ きっと

僕は歩く 止まってた時間を取り戻すように
今日がある意味を探して 探して

色々失った あらゆるものが一瞬で消えた
それでも僕は歩いて 歩いてゆくんだ

これが長い長い葛藤の日々の始まりになるとしても
僕は どう転がっても負けない 負けるわけにやいかない

こんな人と人の結びつきが問われる今の時代も
捨てたもんじゃない この世界は

生きてる喜びを分かち合える人はどっかにいて
君をいつか笑顔にしてくれるよ

隣にいる誰か 遠くにいる誰かも一緒に
心強い友と共に 歩いて 歩いて 歩いてゆくんだ

僕は歩く 立ち止まった人の分も歩いて
みんな幸せな明日を探して探して

いつかは晴れる どんな雨も嵐も乗り越えろ
手を取り合って歩いて 歩いてゆくんだ



ボーカルの吉留慎之介さんとピアノの平畑徹也さんの2人からなるグックル (gucker) は、平畑さんの奥さんが山田町出身という縁から、東日本大震災の後たびたび山田町を訪れ、「ゆめ発信コンサート」で人々を元気づけています。この『歩 (aruku)』という曲は、グックルが東日本大震災から半年を経て、決して忘れてはいけない想いを込めて制作したもので、東日本大震災復興チャリティーアルバム「One Heart Japan 2011 vol.5」に収録されています。

いきる かかわる そなえる

目次

—中学校用—

改訂版

メッセージ

歩(aruku)

1

いきる

① 普代水門と太田名部防潮堤	4
② 自然保護で環境省表彰 — 小屋瀬中学校の取組 —	6
③ 水と共に生きる	8
④ 水沢の三先人「高野長英・後藤新平・斉藤實」	10
⑤ 銭形平次の生みの親 野村胡堂	12
⑥ 4度目の挑戦でオリンピックの切符を手にした水本選手	13
⑦ 職場体験は地域の子育て	14
⑧ 二十歳の自分へ — 大沢小学校のタイムカプセル —	16
⑨ 演劇で郷土の偉人を語り継ぐ	18
⑩ 「心の授業」	20
⑪ 避難所におけるラジオ体操やストレッチ体操の効果	22

かかわる

⑫ 家族を信じて 自分の命は自分で守る	24
⑬ ドイツ友好都市との交流	26
⑭ 興田中学校応援団「シイタケ王国」の復活を願う	27
⑮ 「かるまい学」でふるさとを知る・学ぶ・活かす	28
⑯ SHEL学習で環境とエコを学ぶ	29
⑰ チャグチャグ馬コ クリーン作戦	30
⑱ 修学旅行で先輩と交流 奥中山中学校のキャリアアップ教育	31

⑲ 真崎わかめ復活物語 — 田老第一中学校の生徒会企画劇 —	32
⑳ 地元特産の漆を生かした浄法寺塗	33
㉑ 英語教育の町 金ヶ崎	34
㉒ 岩手の海で育ち、世界で活躍する南部潜り	35
㉓ 「北上を世界のニットの聖地」にしたい	36
㉔ 若者が帰ってきたくなる町に — 地域づくりに高校生の声 —	37
㉕ 過去から継がれたこの路を 未来に繋ぐこの路を — 野田村の太陽たち —	38
㉖ 地域を学ぶ・地域から学ぶ「大迫学」	39
㉗ 平泉中学校における「郷土・平泉学」	40
㉘ JRC委員会のボランティア活動	41
㉙ 中学生の地域ボランティア	42
㉚ あなたの中に生きている — 田野畑中学校の文化祭劇 —	43
㉛ 小さな町の大きな貢献 住田町の後方支援	44
㉜ 自分たちでの復興 — かまいしキッチンカープロジェクト —	46
㉝ 大槌高校復興研究会の果たす役割	48

そなえる

⑳ 未来をつくる — 東日本大震災津波伝承館 いわてTSUNAMIメモリアル —	50
㉞ 地震・津波・火山噴火のしくみと被害	52
㉟ 自然災害の歴史	54
㊱ 分断された岩泉町 — 2016(平成28)年台風第10号 —	56
㊲ すべてが止まったら、どうする? — ライフライン —	57
㊳ 災害時の情報と心理	58
㊴ あなたに助かってほしいから	59
㊵ より良い避難所運営のために	60
㊶ 地元は自分たち中学生が守る!	62
㊷ 家族と一緒に災害に備える	63
㊸ レスキューフーズ【カレーライス】で非常食体験	64
㊹ 災害ボランティア講習会で学ぶ	65

1 普代水門と太田名部防潮堤

普代川の河口に建つ普代水門は、2011(平成23)年3月11日、消防士の決死の努力で閉鎖され、東日本大震災津波から普代村を救いました。

太田名部防潮堤と共に「東日本大震災で最もよく機能した防災施設」と言われています。



被災直後の普代水門



普代水門。高さ15.5メートルの堰堤のさらに上に設けられた第5機械室には「津波到達高」の表示

そなえることを忘れない

普代村では、1896(明治29)年の明治三陸大津波で人口825人のうち302人が、1933(昭和8)年の昭和三陸大津波で人口1,437人のうち137人が亡くなるという大きな被害を受けています。

この悲劇を繰り返さないために計画されたのが普代水門と太田名部防潮堤でした。どちらの高さも15.5メートルになっているのは、明治三陸大津波の高さ15.2メートルから来ています。総工費は太田名部防潮堤が約6千万円、普代水門が約35億6千万円。計画当時の村の年間予算は約9億円でした。反対する人も多かったと言います。「二度あったことは、三度あってはならない。」と当時の村長・和村幸得さんは反対する人々を説得しました。和村さんは、昭和三陸大津波を体験していたのです。

こうして、太田名部防潮堤は1962(昭和37)年から5年間をかけて1967(昭和42)年に完成、普代水門は1972(昭和47)年から12年間をかけて1984(昭和59)年に完成。その27年後、村を救うことになりました。

「そなえることの大事さは、あのときみんな分かっただろう。水門や防潮堤がなければ、全部流されていた。」と、和村さんをよく知り、消防団の一員として東日本大震災を経験した普代消防団長の三船隆久さんは言います。さらに、「一方で『水門や防潮堤があるから安心』とは思いません。現に津波は水門を越えてきた。『想定外』とよく言われるが、大きな災害はいつだって想定外。過去や経験に学ぶのは大事だが、経験を過信してはいけません。」とも言っています。

過去や経験に学んで造られた普代水門と太田名部防潮堤は、確かに村を守りました。

しかし「想定外」はいつやってくるかわかりません。そのときに「二度あったことの、三度めを起こさない」責任は、今の私たちにかかっています。



普代水門のそばにある和村さんの顕彰碑

間一髪で閉鎖された水門

2011(平成23)年3月11日、14時46分。東北地方太平洋沖地震が起き、普代村役場では震度5強を観測しました。

14時52分、久慈消防署普代分署では津波に備え、遠隔操作で普代水門の閉鎖を開始、水門そのものは5分間で閉じられました。

15時1分には水門の北側を通る村道をつさぐ扉の、15時3分には水門の南側を通る県道44号をつさぐ扉の閉鎖作業を開始。しかし、15時5分に起きた余震によって扉を動かすモーターのリミッターが作動、県道にかかる扉が閉まらなくなってしまったのです。

余震が続くなか、復旧のために副分署長の立白勝さんほか1名の消防士が水門の上にある第5機械室に向かいました。このとき、15時20分。

15時24分、立白さんたちはリミッターを解除。扉は閉まり始めました。

立白さんたちが消防自動車で村役場に帰ろうとしたちょうどそのとき、防潮林をなぎ倒しながら黒い巨大なかたまりが普代川を逆流してきました。

15時27分、普代水門に津波の第一波が到達しました。普代水門の県道にかかる扉が完全には閉まっておらず、高さ23.6メートルの津波は水門を越えましたが、普代村の中心部には到達しませんでした。

同じころ、1キロメートルほど離れた太田名部防潮堤にも津波が押し寄せましたが、こちらは扉が完全に閉められ、内側の住宅を守りました。



調べてみよう・話し合ってみよう

- 過去の災害とその被害を調べてみよう。
- 命を守るために自分ができること、しなければいけないことは何か話し合ってみよう。

2 自然保護で環境省表彰 —小屋瀬中学校の取組—

希少動植物の環境保護活動に取り組む葛巻町立小屋瀬中学校は、2019(令和元)年11月の第54回全国野生生物保護実績発表大会で環境省自然環境局長賞に輝きました。

モリアオガエルの発見が環ボラの始まり

「環ボラ」とは、環境ボランティア活動を略した言葉で、地域の希少動植物を守る小屋瀬中学校の合言葉です。

1997(平成9)年に、それまで付近であまり見られることのなかったモリアオガエルを発見し観察したことがきっかけで、その後、サクラソウやカワシンジュガイなどの希少動植物が学区内に多数生息していることが確認されました。



モリアオガエル

モリアオガエル・サクラソウ・カワシンジュガイの調査

●モリアオガエルの調査と保護活動

カエルが生息するカエル沼を囲む木に産み付けられている卵塊数の調査と平行して、「モリアオガエルが生息しやすい環境をつくれれば、卵塊数は増えるだろう」という課題を設定し、保護活動を行っています。カエル沼を囲む木の下のアシの刈り取りを行ったところ、その木にたくさん産卵しているのを発見しました。そこで、沼に大量に生えるアシの伐採を運動着のまま胸まで浸かって行い、水面の拡張をして卵塊数を増やそうとしています。また、生態を把握するため、どうすれば成体になるか、えさは何かを調べながら飼育も試みました。



アシの木に産卵

●サクラソウの調査と保護活動

学区を流れる土谷川の台風被害により2003(平成15)年に移植された3か所のサクラソウの本数調査を行いました。そしてサクラソウの生育を妨げる外来種のおオハンゴンソウの駆除をしました。全部で330kgもありました。



オオハンゴンソウの駆除



サクラソウ

また、専門家からの指導を受け人工授粉に挑戦しました。人工授粉の成果は数年かかるため、後輩

たちが受け継いでいます。

●カワシンジュガイの個体数調査と保護活動

2019(令和元)年度の小屋瀬小学校裏の土谷川での個体数調査で、567個のカワシンジュガイを発見することができました。それぞれの大きさを測り分布グラフで見ると、1cmの小さなものもあったため、この川でカイの世代交代が行われていることが確認できました。

水質調査をしたところ、学区を流れるすべての川がきれいでした。しかし、土谷川にしかカワシンジュガイは生息していません。「なぜ、他の川にはカワシンジュガイがいないのか？」文献調査などにより、カワシンジュガイの幼生が宿主であるヤマメに寄生できることが世代交代に重要であるとわかりました。土谷川以外の川は針葉樹が多いため、広葉樹の腐葉土の栄養が少ないことなどが理由に考えられました。



カワシンジュガイ



カワシンジュガイの個体数調査

小屋瀬の自然は、かけがえのない宝もの

2002(平成14)年7月、台風による大雨により、学区を流れる土谷川流域が大きな被害を受けました。町は希少動植物と共存し、景観に配慮した「川づくり」に向けて改修工事を始めました。この取組に先輩たちは「環境ボランティア活動」として積極的に関わりました。

2019(令和元)年10月の文化祭では学習のまとめとして発表を行い、地域・保護者の方々に環境保全の大切さを訴えました。11月には、「第54回全国野生生物保護実績発表大会」で発表し、環境省自然環境局長賞を受賞しました。私たちが暮らすふるさと小屋瀬の自然は、かけがえのない私たちの宝ものです。



全国発表



考えてみよう・調べてみよう

- あなたは、地域の環境を守るためにどのような取組が必要だと思いますか。
- 県内にあるジオサイト、自然が作り出した地形や痕跡等を調べてみよう。

水と共に生きる

陸前高田市立高田第一中学校二年 小野寺麻緒

「全日本中学生 水の作文コンクール」は、全国の中学生や海外日本人学校在学の日本人中学生を対象として、広く水に対する関心を高め、その理解を深めることを目的としています。2019(令和元)年の第41回では、総数12,760編の中から、この作文が優秀賞・中央審査会特別賞を受賞しました。



陸前高田市・高田松原津波復興祈念公園から望む海

あの日、私は初めて水の怖さを知った。東日本大震災が起きたのは、今から八年前。当時、私は五歳だったが、その時のことは、今でも鮮やかに覚えている。

私はあの時、中学校の体育館に避難した。避難所で一番先に配られたのは紙コップ半分の水。ほんのわずかな量であったが、嬉しかった。しかし、水

は不足し、トイレの水は流れず、お風呂に入るなんて考えられない日々であった。私は、「海なんて無くなればいい、津波なんて来なければよかったのに」と何度も思った。地震は、私たちの大切な街を、人々の笑顔を、そして、たくさんの思い出を奪っていった。私は幼いながらも本当の悲しみを感じた。

数日して私たち家族は、山沿いにある祖父母の家に避難した。そこで、私は陽の光を集めてキラキラ光る沢の水にはっとして思わず息をのんだ。私はいてもたってもいられず、一目散に走って行き、水をすくうと一気に飲んだ。ゴクゴクと音を立て、冷たい水は私の喉を流れていった。味のしない水がこんなにもおいしいなんて思ってもみないことだった。

小学生になると、私は体育の授業が不安だった。水が怖くて、プールに入るのがとても嫌だったのだ。「おぼれたらどうしよう、沈んでしまったらどうしよう。」といつも考

えてしまうのだった。けれども、プールの水面に映る輝きは、あの山の沢のきらめきにも似ていて、喉の渇きをうるおした水の記憶と重なり、私の恐怖心は徐々に薄れていった。

海が嫌いで、海なんかなくなればいいと思っていた私だったが、中学生になると次第に私の気持ちは変化し、「この海とともに生きていくためにはどうしていったらいいのだろう」と考え始めていたのだった。そんな時、父から「防災についてもっと知りたくないか」と誘われ、市で行われている『防災マイスター養成講座』に父と姉との三人で通うことになった。たくさんの大人に交じって話を聞くことは少し難しかったが、洪水や土砂崩れなど水害の学習や避難生活の食事、地域での避難訓練の大切さなどを改めて学ぶことができた。十二講座の中でも特に、靴の代わりに新聞紙でスリッパを作ることや火を使わずに水だけで調理ができる食品のことがとても印象に残った。災害から身を守るための知識がないと、自分を守れないことも初めて知った。最後にテストを終えて、私はマイスターの認定を受けることができた。そして、その学びを同じ学年の仲間の前で発表する機会に恵まれ、避難所運営に役立つ情報を伝えることもできた。災害時に長持ちする食品や賞味期限の優先順位をつけるというローリングストックの話をもみんなはとても興味深く聞いてくれて、私もみんなの役に立てたことがとても嬉しかった。

人間の命を支える水は、時として、人の命も奪ってしまう怖いものにもなる。しかし、震災を経験した私たちにとって水はかけがえのない大切なものだ。

私は、水に囲まれたこの街が好きだ。好きだからこそ、海を怖がらず、水を怖がらず、次の世代にもこの街を好きになってほしいと願う。どんなに月日が過ぎても震災の悲しさや辛さは決して消えることはないけれど、私はこの街の復興を思い、これからの人達に防災活動を通して、水の怖さも豊かさも同時に伝えていきたい。そして、あのコップ一杯の水を差し出せる人になりたい。

キラキラとした故郷の水の美しさ。水を守り、街を守っていくことがこれからの私のできることだと思う。



考えてみよう・話し合ってみよう

- あなたが、「自然」の大切さを感じるのはどんなときでしょうか。
- 住んでいる地域で、紹介したい風景とその理由を話し合ってみよう。

4 水沢の三先人

たかの ちょうえい ごとうしんぺい さいとうまこと

「高野長英・後藤新平・齋藤實」

奥州市で「水沢の三先人」と言われている「幕末の先覚者・高野長英」、「東京復興の偉人・後藤新平」、「自力更生の偉人・齋藤實」を紹介します。

鎖国の中から近代日本の扉をたたいた蘭学者 高野長英

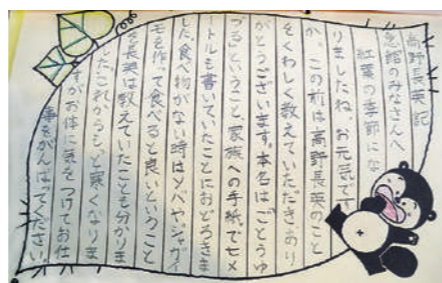


高野長英

高野長英は、1804(文化元)年、陸奥国水沢(現・奥州市水沢)に生まれました。17歳で江戸に出てオランダ医学を学びます。その後長崎に移り、シーボルトに医学と蘭学を学びます。27歳の時、江戸で「大観堂」と名付けた塾・医院を開業し、日本初の生理学書『医原枢要』や、天保の大飢饉への策としてソバとジャガイモの栽培を勧めた『救荒二物考』などを書き著しました。

1837(天保7)年、幕府は江戸湾に近付いたモリソン号に砲撃を行いました。これを「モリソン号事件」と言います。しかし、モリソン号は漂流した日本人を助けてくれていたのです。翌年、長英は『夢物語』という本を書いて幕府を批判し、

逮捕されてしまいます。この事件は「蛮社の獄」と言われ、長英は無期懲役となりました。しかし、牢屋敷の火事の際に脱獄し、長英は多くの知人や宇和島藩主の伊達宗城にかくまわれながら、天文学書や西洋兵書の翻訳に励みました。1850(嘉永3)年10月30日、長英は幕府の役人に見つかり、47歳で自ら命を絶しました。この4年後に日本は開国したのです。1898(明治31)年、宮内省から「正四位」を追贈され、長英の名誉は回復しました。



高野長英記念館への御礼の手紙

将来を見通す先見の政治家 後藤新平



後藤新平

後藤新平は、1898(明治31)年に台湾総督府民政長官として台湾に赴任すると、風土病・アヘン・ゲリラへの対策やインフラ整備を実施しました。さらには、アメリカから新渡戸稲造を招いて、サトウキビの改良と普及に尽力した結果、砂糖の輸出大国となり、経済の安定化にも成功しました。

1906(明治39)年には、南満州鉄道株式会社の初代総裁に就任し、輸送能力向上のため、鉄道のレール間隔を広げる改修をわずか1年で行いました。また、大連の港町の整備、鉄道や駅周辺の都市開発等、様々な基盤整備も積極的に推進し、台湾同様、当時の東京に勝る近代都市を造っていきました。

このような業績が認められ、1908(明治41)年、国務大臣として



子どもたちによる「新平新聞」

迎えられます。通信大臣兼鉄道院総裁を皮切りに内務大臣や外務大臣等を歴任した後、1920(大正9)年、東京市長に就任しました。

東京市長を辞任した1923(大正12)年、関東大震災が発生したため、直ちに内務大臣兼帝都復興院総裁に就任しました。新平の思いは、「復旧ではなく、復興」でした。速やかに「帝都復興計画」を提示するとともに、人材を結集し、土地の区画整理や幹線道路、小公園、教育施設の整備等を行い、東京を近代都市に姿容させました。この時描いた復興計画が元になって、今の東京が形作られていったのです。

後藤新平は、少年団日本連盟(後のボーイスカウト)の初代総裁も務めており、「人のお世話にならぬよう 人のお世話をしよう そしてむくいを求めぬよう」と説いた「自治三訣」の言葉が残っています。

岩手が生んだ二人目の総理大臣 齋藤實



齋藤實

昭和の初め、日本はアメリカ発の株式大暴落の影響を受け、「経済恐慌」に陥りました。株価が暴落したり、会社が倒産したり、大不況に国民の生活はたいへん苦しいものでした。とりわけ農村は苦しく、相次ぐ凶作で農村の救済が求められました。そんな中で齋藤實は請われて第30代総理大臣となりました。齋藤實は1858(安政5)年陸奥国胆沢郡塩釜村(現・奥州市水沢)生まれ、海軍大臣や朝鮮総督を務めた軍人であり政治家です。

齋藤内閣(昭和7年5月～昭和9年7月)では、経済の立て直しのため、土木工事など公共事業や農家の救済のために力を注ぎました。内閣のスローガンは「自力更生」で、政府も国民も協力して国を立て直そうという政治でした。特に1933(昭和8)年3月3日に発災した「昭和三陸大津波」には、岩手県出身の総理として、震災復興にたいへんな努力を惜しみませんでした。国民生活の向上に大きな成果をあげました。1935(昭和10)年12月内大臣になりましたが、翌年2月26日、一部の青年将校の反乱により暗殺されてしまいました。



齋藤實の生涯に迫る「三偉人新聞」



話し合ってみよう・考えてみよう

- 「人のお世話にならぬよう 人をお世話するよう そしてむくいを求めぬよう」の意味を話し合ってみよう。
- あなたは、3人の偉人の考え方や行動のどんなところが素晴らしいと思いますか。

5 ぜにがたへいじ 銭形平次の生みの親 のむらこどう 野村胡堂

「男だったら、一つに かける…」のテーマ曲で始まるテレビ映画「銭形平次」。1966(昭和41)年5月4日にスタートし、1984(昭和59)年4月4日まで888回放送されました。この「銭形平次」の生みの親が紫波町出身の野村胡堂(本名は野村長一)です。



のむらこどう 野村胡堂

大人気作品「銭形平次」の誕生

1882(明治15)年生まれの胡堂は、1896(明治29)年、14歳のときに盛岡中学(現在の盛岡第一高等学校)に進学します。同級生に金田一京助、先輩に米内光政、後輩に石川啄木らがいました。1907(明治40)年、胡堂は東京帝国大学法科大学(現在の東京大学法学部)に入学しますが、父親が亡くなったことも一因で学資が続かず、退学。1912(明治45)年、30歳のときに報知新聞社に入社します。ここで様々な分野の記事を書き、作家としての腕をみがきました。



さっそうたる銭形平次
(「野村胡堂・あらえびす記念館」内)

「銭形平次」誕生のきっかけは、文藝春秋の編集長に「新しい雑誌を出すので、『半七捕物帳』のようなものを書いてくれないか。」と頼まれたことでした。「銭形平次」という名前はたまたまビル工事の垂れ幕にあった「銭高組」から、銭を投げるアイデアは「水滸伝」の没羽箭張清が石を投げることからヒントを得ました。こうして、小説としてもテレビ映画としても大人気となった「銭形平次」が誕生したのです。

野村胡堂・あらえびす記念館

紫波町に「野村胡堂・あらえびす記念館」があります。「あらえびす」は、野村胡堂のもう1つのペンネームで、小説を書くときは野村胡堂、音楽評論を書くときはあらえびすと名乗っていました。大正時代、日本にもSPレコードが出始め、胡堂はクラシック音楽に夢中になり、レコード評論を書くと共に、クラシックレコードを集めました。その収集したレコードの一部約7000枚が野村胡堂・あらえびす記念館にあり、毎月1回、「あらえびすレコード定期コンサート」が開かれています。



「あらえびすレコード定期コンサート」でクラシック音楽に聴き入る人々
(写真3点：野村胡堂・あらえびす記念館提供)



話し合ってみよう

●夢をかなえるために、今やるべきことは何か話し合ってみよう。

6 ちようせん 4度目の挑戦でオリンピックの 6 きつ ぶ 切符を手にした水本選手 みずもと

水本圭治選手は、2019(令和元)年8月にハンガリーで行われたカヌースプリント世界選手権・カヤックフォア500メートルで12位、アジアで最上位となり、東京オリンピックへの出場を決めました。



みずもとけいじ 水本圭治選手

かべ こ 一つ壁を越えた

水本選手がオリンピックの切符を手にしたレースは男子カヤックフォア500メートル。これは4人でこぐレースで、水本選手は先頭でこぎました。レースの感想を水本選手は、「先頭をこぐ者はチーム全体を考えたペース配分をしなくてはなりません。今回は他の国のチームがスタートで先に行っても、動じることなく、チームの力を発揮できました。今までわずかな差で負けていましたが、これでやっと壁を一つ越えることができました。」と述べています。



やはば 矢巾町で祝福を受ける水本選手

くじけず、前に進もう

中学校まで野球をやっていた水本選手は、不來方高校でボート部に入部しました。タイムが縮まるのがうれしく、夢中で練習しました。そのかきがあって、高校3年生のときには、インターハイで500mシングル・ペア、200mシングル・ペアの4種目に優勝して4冠を達成しました。大正大学時代も活躍し、大学2年から3年連続でMVP(最優秀選手)を獲得しています。大学を卒業した秋のオリンピックアジア大陸最終予選でオリンピック出場枠をのがすなど、三度オリンピック出場の機会をのがしましたが、四度目の挑戦でオリンピック出場を決めました。



東京オリンピックに向けてハワイで合宿中の水本選手(先頭)

水本選手は「オリンピックに出るからにはメダルを取りたい。」と言い、岩手の中学生たちには「つらいとき、悔しいとき、悲しいときいろいろあるが、全部自分を成長させるためのものです。くじけず、前に進んでいこう。」とエールを送っています。



話し合ってみよう

●目標になかなか到達できないとき、現状を打開するためどうすればよいか話し合ってみよう。

7 職場体験は地域の子育て

大槌町には独自の教育科目として「ふるさと科」があり、その学びの1つとして職場体験が実施されています。この職場体験で生徒たちは社会の実情を学びます。

大槌学園の職場体験

大槌町立大槌学園は2016(平成28)年に開校した義務教育学校です。現在の日本の義務教育は6・3制ですが、大槌学園では4・3・2制を取り入れています。

大槌学園で学ぶ「ふるさと科」は普通の総合的な学習の時間とは少し違います。地域への愛着、生き方進路指導、防災教育、この3つを柱にしています。この地域への愛着と生き方進路指導の学びとして職場体験があります。学校が受け入れ先の事業所に事前に渡す依頼書には目的が3つ書かれています。①進路意識を高める。②基本的なマナーや言葉遣い、コミュニケーション能力などの社会性を養う。③大槌町で働く人々の現状を学び、ふるさとへの愛着を育む。最後の③に書かれている「ふるさとへの愛着」こそが「ふるさと科」で学んでほしい職場体験の意義です。

職場体験で行うこと

職場体験は9年生の取組です。ある年の参加生徒数65人に対して受け入れ先の事業所数は32か所、ほぼ1つの事業所につき2人で参加する形でした。受け入れ先は保育園、幼稚園などの教育サービスから農家、病院、ホテル、消防署など多岐にわたります。

受け入れ先が決まると、自己紹介書を作成します。これを自分で作成することで、「自分とはどのような人間なのか」と自己理解が深まります。他にはコミュニケーション能力を高める取組などをします。このようにある程度の準備をしてから職場体験に臨むのです。

1日の職場体験が終わると、自宅に帰って体験日誌を記入します。日誌には「時間を守れたか」「あいさつや返事がきちんとできたか」などの自己評価、反省・感想を記入する欄、そして2日目の目標を記載する欄があります。2日目の朝、最初にするはこの体験日誌を事業所の人に見てもらふことです。



消防署での職場体験

学校の先生が感じること

職場体験が終わると、先生は生徒に感想を聞きます。

例えば、病院に職場体験に行った生徒からは、「自分が病院に来て診察してもらっている裏では、医師だけでなくたくさんの人が仕事をしていることが分かりました。普段働いている人について深く考えることはなかったけれど、こんなに多くの人に支えられていると、この職場体験を通じて知ることがで

きました。」、保育園へ職場体験に行った生徒からは、「子どもたちの笑顔や少しでも成長した姿を見るととてもやりがいを感じ、素晴らしい仕事だと分かりました。私の将来については決まってい



病院での職場体験



保育園での職場体験

ないけど、この2日間を通して保育士はすばらしい職業だと感じました。将来のことを考えるととても良い機会となりました。」という感想が聞かれました。

生徒たちを地域で見守る

生徒たちを指導するのは学校の先生だけではありません。受け入れ先の事業所もまた、先生です。ある工場の例です。工場の人は仕事内容の説明の後、こんな話を始めました。

「例えばうちは午前9時から午後6時までが勤務時間だけど、9時に来る人はいないんだよ。早い人は8時に来るんだ。」

すると生徒たちは「なんでなんで。」と聞いてきます。しかしすぐに答えを言いません。「なんでだと思う？」と逆に生徒たちに聞くのです。「早く目が覚めたのかな。」など、いろいろ面白い意見が出てきます。

「鍵を開けるために早く来る人もいるし、準備が遅いから皆に迷惑がかからないようにと早く来る人もいる。いろんな理由なんだよ。(じゃあ)逆にぎりぎりに来た人はどうだろう。ぎりぎりに来ても遅刻じゃないんだよ。でもなんかバツが悪そうなんだよね。」

「そりゃそうだよね！」と話が膨れてきます。「だったらぎりぎりじゃなくてちょっと早く来ればいい。」となり、「(じゃあ)ちょっと早く来るためにはどうすればいいかな。」と聞くと、「早めに家を出たほうがいい。」「ちょっと早めに寝たほうがいい。」と生徒たちから意見が出てきました。

工場の人はこのように生徒たちに気付きの時間を与えるのです。最初から「遅刻は駄目だ。」と言うのではなく、気付くように導いていくのも1つの方法だと考えています。



製作所での職場体験



考えてみよう・話し合ってみよう

- あなたを支え、励ましてくれるのは、どんな人でしょうか。
- 職場体験でお世話してくれる人たちからどのようなことを学びたいか話し合ってみよう。

8 はたち 二十歳の自分へ —大沢小学校のタイムカプセル—

2019(平成31)年1月、山田町立大沢小学校で1つのタイムカプセルが掘り起こされました。東日本大震災直後の2011(平成23)年3月、当時の6年生29人が埋めたものです。

成人になった彼らは、「二十歳の自分へ」と題した小学校6年生の自分からの手紙を受け取りました。その様子は、NHKスペシャル「震災タイムカプセル」挿入 二十歳の自分へ」で放送されました。

きっと元の明るい町に

「今、何の仕事をしていますか？」手紙の多くにはそんな質問が書いてありました。

潜水士となって港湾や防潮堤の復興工事に携わる人、人々を支える仕事として看護師を選んだ人、震災時の救援部隊の活動を見たことがきっかけで警察官・消防官・自衛官になった人……。今もふるさと大沢に住んでいる人、ふるさとを離れて暮らしている人、それぞれの進路は様々です。

「地震・大津波のことを覚えていますか？」という東日本大震災のことも、多く書かれています。

2011(平成23)年3月、避難所となった大沢小学校で、子どもたちは「肩たたき隊」を結成、高齢者を訪問するなど、地域の人々を元気づけていました。2004(平成16)年から児童会執行部で毎月作り続けられていた学校新聞「海よ光れ」も発行が継続されて人々に配られ、地域の希望の光となったのです。

右の写真は、震災から約1か月後の4月19日に発行された「海よ光れ」第78号です。

タイムカプセルを埋めた子どもたちから発行を受けついで後輩たちは、次のように書いています。



避難所で当時の小学生が発行した学校新聞「海よ光れ」。助け合っていこうという呼びかけや支援への感謝などが記されています

今、大沢小学校は、家をなくしてしまった人達の家であり、地域の人達に食べ物や救援物資を届ける大切な場所です。私達のためだけの学校ではないことを忘れず、避難している人の気持ちになり行動しましょう。

私達にもできることが必ずあります。大沢の人達が元気を出せるようにまず私達が元気で明るく生活しましょう。そしてみんな仲良く助け合い暮らしましょう。きっと元の明るい町に戻れます！

8年後の大沢はどうなっていますか？

統合により2020(令和2)年3月で閉校した大沢小学校には、学校新聞の他にもう1つの「海よ光れ」がありました。1988(昭和63)年から上演されてきた全校表現劇『海よ光れ』です。地域の歴史や海と向かい合って生きてきた人々の姿を全校児童の身体表現と歌で描くもので、毎年秋の公演には地域の人々が詰めかけていました。



全校表現劇「海よ光れ」最終公演の様子

劇には明治三陸地震津波の場面があり、その部分は震災以降、地域の人々の心情を考えてナレーションのみで上演していました。閉校前の最終公演にあたって「オリジナルの形に戻すかどうか」が子どもたちの間で話し合われ、「地域の人一人でもいやな思いをするのはいやだから、ナレーションのみでやる」ことになりました。「大沢が一番いいところだ。大沢を忘れんな。」劇中で主人公が孫に言う台詞です。故郷は大切に、地域の人々を思いやる心は、後輩たちに受けつがれていました。一方、地域の人々は閉校後も「海よ光れ」を残そうという動きを始めているといいます。

タイムカプセルの手紙には「8年後の大沢はどうなっていますか？」という質問が多くありました。この質問に対する答えは、29人それぞれで違って来ます。

それでも、地域の人々を思いやり、そして未来への希望を失わなかった「あの日」の子どもたちの想いは新しい学校に受けつがれ、光となって地域を照らしているのです。



考えてみよう・やってみよう

- あなたが、自分の成長を実感するときはどんなときでしょうか。
- 数年後の自分に励ましの手紙を書いてみよう。

9 演劇で郷土の偉人を語り継ぐ

西和賀町沢内地区には、三偉人といわれる生命尊重主義を説いた深沢晟雄村長、飢饉のために命をささげたオヨネ、寒冷地での米作りを成功させた藤原長作の三人がいます。沢内中学三年生は、毎年一話ずつ、文化祭で三偉人に関する演劇を上演しています。

2019(令和元)年10月の文化祭では、オヨネの悲話を描いた「沢内の愛の物語」が上演されました。

—天保の飢饉のころ、庄屋は年貢米減免のため、娘のオヨネを南部の殿様に差し出すことにします。盛岡に旅立つ前、オヨネは恋心を寄せるシンザに幸せになれると伝え聞く「ナギの葉」が欲しいと言います。シンザは遠い異国、紀州熊野でやっとナギの葉を手に入れ、盛岡の城に居るオヨネに届けようと思いますが、門番にはばまれ、オヨネに渡ることはありませんでした。オヨネは病死し、悲しんだシンザも後を追うように死んでしまいました。

沢内の歴史を学びつつ、演劇を上演しよう

沢内中学校で偉人に関する演劇が始まったのは2012(平成24)年。西和賀町の町民劇に関わっていた演出家の大峰順二さんが沢内中学校で演劇を指導することになり、沢内の歴史を学びつつ演じようということになりました。

台本は三作とも沢内をよく知る大峰さんが書きました。大峰さんは東京都在住のため、生徒たちの指導にあたるのは文化祭本番のほぼひと月前。

春に台本を渡された生徒たちは、大峰さんの指導を受ける前に、配役を決め、せりふを覚えます。

2019(令和元)年は、本番が10月27日。大峰さんの指導は10月7日に始まりました。けいこの前に、大峰さんは生徒たちに問いました。

「今、芝居をつくらうとしている君たちの前には2つの道があります。1つはアマチュアだからこの程度できればいいという甘い道。もう1つは妥協を許さず高い目標に向かう道。さあ、君たちはどちらを選びますか。」

すべての生徒が後者を選び、そしてけいこが始まりました。

演劇の経験のない生徒は、最初はどこまで、何をやっていいのかと戸惑いがあり、声が出ず、泣くことも笑うこともできませんでした。それが「演劇はフィクションであるけれど、本



オヨネの上演

当のことだと思って演じなければ真実は伝わらない。」という大峰さんの演劇論に触れながら、どんどん変化します。そして、集中し、みんなが協力し合うことで、わずか10数回のけいこで観客に感動を与える演劇ができ上がります。終幕近く、シンザが「オヨネ！」と叫ぶ場面では多くの観客が泣いていました。



けいこに励む生徒たち

演劇から学ぶ

大峰さんは、「演劇はだれかがかぜをひいても、せりふを忘れても、一瞬にしてこわれてしまうので、みんな大事に支え合っていかなければなりません。また、濃密な時間のなかで心を開いてけいこすることが必要で、生徒たちはこの間にすごく変化します。演劇には人間を育てる力があるんです。」と言います。

沢内中学校では、演劇は生徒たちにとってなくてはならないものとなっています。

生徒たちの感想

- 本格的な演劇は初めてだったが、みんながどんどん役に入って行って、感情がこもっていくのがわかって、楽しかった。
- 演劇の楽しさや役に入り込み、感情をこめる楽しさを知ることができた。
- 最初のころは緊張していつ怒られるかとこわかったけど、先生にアドバイスをもらうにつれ役が好きになり、演技をすることが楽しくなった。
- 演技のほかに生きていくために大切なことや社会に出たときの大事なことを教えてもらった。



大峰先生を囲んで



考えてみよう・話し合ってみよう

- あなたは、どのようなときに感動しますか。
- 人として成長するときは、どのような時か話し合ってみよう。

10 「心の授業」

私たちは様々なストレスから、どのように健康を守ったら良いのでしょうか。「心の授業」から考えます。

スタートは「自分の気持ちを知る」

私たちは毎日生きているので、いろいろなことから眠れない、悲しい、やる気がでないなど、様々な心身の状況になります。こういうストレス反応は誰にでもある、普通のことです。

〔ストレス反応の例〕

- | | | | | | |
|-----|----------|---------|---------|--------|----------|
| 身体 | ・眠れない | ・食欲が出ない | ・頭や腹が痛い | ・体がだるい | |
| 気持ち | ・不安 | ・いらいらする | ・落ち込む | ・孤独 | ・やる気が出ない |
| 行動 | ・落ち着きがない | ・はしゃぐ | ・怒りっぽい | ・ひきこもる | |
| 考え | ・集中できない | ・思い出せない | ・自分を責める | | |

このようなストレスは心身ががんばっているサインでもあり、ストレスとのうまく付き合い方を身に付けることが大切です。ストレスを知り、ストレスとうまく付き合うことができることを「ストレスマネジメント」と言います。

人は心を持っています。そして、心は明るくなったり、暗くなったりします。自分が悲しいとか、怒っているとか、まず自分の感情を知ることがストレスマネジメントのスタートとなります。

ストレスを感じたら、「食べる・寝る・話す」

大変なことや環境の変化があると気が張り、休まなくてもがんばり続けることができます。しかし、いつの間にか疲れがたまり、調子が悪くなることがあります。ストレスを感じたら、「食べる・寝る・話す」を心がけましょう。

- ①休息をこまめにとる：時間を決めて休みをとりましょう。お風呂にも入りましょう。
- ②1日5時間以上寝ましょう：眠れなくても横になって体を休めましょう。
- ③食事や水分を十分にとりましょう：食事の時間を決めて食べましょう。食欲がなくても、何かお腹に入れましょう。
- ④心配や不安を感じたら、誰かと話をしましょう：不安を感じたり、体調が悪くなったりするのは誰でも同じです。気がかりなことがあったら、雑談でもいいので、信頼できる人と話をしましょう。

セルフケアでリラックスしよう

ストレスをコントロールすることは日常の困難を乗り越える力となります。「なんかおかしいな。」と思ったら、軽い体操をして心身をリラックスさせてみましょう。2つの体操を紹介します。

〔1〕リラックス呼吸法

- ①楽な姿勢で自然にまっすぐ腰かけます。
- ②楽に気持ちよく腹式呼吸で深呼吸をします。
- ③鼻から吸って、口からゆっくりとはき出します。
- ④もう一度、吸って、1、2、3ハイ、少しとめて、はきます。6、7、8、9、10～。
- ⑤はいてしまうと自然に息が入ってきます。
- ⑥もう一度、らくに気持ちよく深呼吸をします。
- ⑦息をはくときに、体の疲れや心のイライラなどもいっしょにはき出すイメージで、ゆっくりとはき出します。
- ⑧自分のペースで、しばらく続けます。～1分程度行う～
- ⑨最後に全身でウーンと伸びをします。適当に首や肩を回し、足を動かしたりして終わりです。



〔2〕肩のリラックス法(イスに座って行う方法)

- ①椅子に座った状態で、肩をまっすぐ上にあげます。背中が丸くならないように注意します。
- ②ちょっと“きついな”と思うところまであげたら、ゆっくり5まで数えます。これを、呼吸しながら行います。
- ③その後、ゆっくり10まで数えながら、力を抜いて肩を下げます。
- ④肩が下りたら、しばらく力がゆるんだ状態を味わいます。①～④を2～3回ほど行います。



調べてみよう・話し合ってみよう

- これらのリラックス法以外に、同じ効果が得られる運動などを調べてみよう。
- これらのリラックス法をした後の感想を話し合ってみよう。

いきる

かかわる

そなえる

いきる

かかわる

そなえる

11 避難所におけるラジオ体操やストレッチ体操の効果

健康運動指導士の藤野恵美さんは、2011(平成23)年3月から2018(平成30)年3月までに気仙地域で400日以上活動し、仮設住宅等での指導回数は1600回を越えました。避難生活において運動は、どのような役割を果たしたのでしょうか。

震災後3日目の朝から自主的に始まったラジオ体操

東日本大震災で陸前高田市は大きな被害を受けましたが、陸前高田市立第一中学校は高台にあったため被害を受けることなく、避難所となりました。教室や体育館に1850名もの人たちが身を寄せ、避難生活を送りました。地震津波の恐怖、明日からどうなるかという不安の中で避難所の人々はじっとしていましたが、「何かをしなくてはならない。」という思いから、自主的に3日目の朝からラジオ体操を始めました。毎朝7時になると中学生2、3人がステージに立ち、避難者全員でラジオ体操第一を行いました。

体操を通じて笑顔を取りもどす

2011年3月11日、藤野さんは陸前高田市で指導を終えて戻る途中津波に襲われ、避難所で一夜を過ごして自宅に戻りました。それからずっと、避難所で暮らしている人たちのことが気がかりでした。何もしないでいると、生活不活発病になったり、心が病んだりします。「その場で立って行う運動をお願いします。」と連絡が入ったのは3月24日。28日の朝からラジオ体操に加えてストレッチ体操を行うことになったのです。藤野さんは持参したラジカセでいきものがかりの『ありがとう』の曲を流し、それに合わせてストレッチ体操を行いました。当時の様子を藤野さんは次のように話しています。

「子供たちがだんだん私と一緒にステージに上がってきて笑顔になり、中学生、高校生、また時には大人からも様々な音楽のリクエストがあって、みんなの表情が和らいでいくのがわかりました。」



ストレッチを指導する藤野恵美さん(2011年3月28日)

こうして、藤野さんの多忙な日々がスタートしました。朝5時に起き、連日100km以上車で沿岸部を走り、各地の避難所で体操を指導しました。避難所の利用者からは、「コミュニケーションがよくなり、大きなトラブルがなくなった。」「ときには笑顔も出るようになった。」と喜ばれました。

仮設住宅や災害公営住宅で体操

陸前高田市の避難所は2011年8月12日ですべて閉鎖され、多くの人は仮設住宅に移りました。そして藤野さんは、仮設住宅をまわって体操を続けました。

「プライバシーが確保できたのはよかったのですが、逆に避難所よりも孤独になったり環境が変わって生活不活発病になったりする心配がありました。だから私は追いかけるように仮設住宅を廻って体操を続けることにしたんです。」

仮設住宅の庭で音楽を鳴らすと、ずらりと並ぶ玄関から人々が出てきます。みんなで避難所で慣れ親しんだラジオ体操とストレッチ体操を行い、気持ちよい汗をかきます。

藤野さんの陸前高田市での仮設住宅や災害公営住宅での活動は、体操や地域の交流の輪が広がり、安定してきたことから、2018年3月で区切りが着きました。「震災直後から続いてきた体操の交流の輪が今後も地域で続いてほしい。」と、藤野さんは願っています。

避難生活の状況に合わせた藤野さんのアイデア 「トイレに立ったついでに体操」



腰回し

上体ひねり(左右・斜め上)

トイレから出る前にスクワット



背伸び

胸そらし

胸伸ばし

背中伸ばし

わきのばし

体側伸ばし

壁押し



考えてみよう・やってみよう

- これらの体操、ストレッチは、避難所以外のどのようなときに活用できると思いましたか。
- これらのストレッチをした後の感想を交流してみよう。

12 家族を信じて 自分の命は自分で守る

2011.3.11 を経験した釜石市民より、未来のあなたへ

10のメッセージ

わたしたちのまち釜石は、三陸の雄大な自然に抱かれた美しいまちです。
しかし、あの東日本大震災により、多くの命が奪われ、わたしたちの暮らしは一変しました。
あの悲しみを二度と繰り返すことがないよう、
未来の命を守るため私たちから10のメッセージを伝えます。

10 messages

for future generations from the people of Kamaishi
after the 2011.3.11 Great East Japan Earthquake and Tsunami

Our town of Kamaishi is a beautiful one, surrounded by the magnificent natural beauty of the Sanriku region.

However, many lives were lost with the occurrence of the Great East Japan Earthquake and Tsunami,
and our way of life was utterly transformed.

We convey these 10 messages to prevent this tragedy from happening again and to protect future lives.

- | | |
|--|--|
| 1 大きな揺れや長い揺れを感じたら
あなたは、とにかく
高いところへ
逃げてください | 1 If you feel big or long tremors,
drop everything
and run for high ground. |
| 2 たとえ過去の津波が
いま、あなたのいる
場所まで来たことがなくても
あなたは逃げてください | 2 Run, even if
past tsunamis have never
reached where you are before. |
| 3 100回逃げて、100回来なくても
101回目も必ず
逃げてください | 3 Even if you've run 100 times
and a tsunami has failed to come
100 times, run the 101st time. |
| 4 あなたが率先して逃げれば
多くの人の避難を促し
命を救うことになるでしょう | 4 If you take the lead and run,
you will encourage many others
to take shelter, saving lives. |

- | | |
|---|--|
| 5 相手は自然。
いつ、どこまでどれほど
大きな津波が来るか
だれにもわからないのです | 5 Nature is our adversary.
No one knows when, how long,
or how far a giant tsunami will come. |
| 6 家族を信じて
みな「命てんでんこ」で
逃げてください
自分の命は自分で守るしかないのです | 6 Trust your family members
to look out for themselves;
you can only protect your own life. |
| 7 地震がおきたら
家族が別々の場所にいても
探したり
戻ってはいけません | 7 When an earthquake occurs,
do not search or go back for family
members,
even if they are in a different location. |
| 8 もし、大切な人の命を守れなくても
決して自分を
責めないでください | 8 Never blame yourself
if you are unable to protect
the life of someone you love. |
| 9 やがて平穏な日常が戻ったとき
あなたはきっと気づくでしょう
自分は決して一人ではないことを
多くの人に支えられて生きていることを | 9 When calm returns and things go
back to normal,
you will realize
that you are not alone
and that you are supported by
countless others. |
| 10 未来のだれかが同じ思いをしないように
いま、あなたにできること。
「避難を続けること」
「備えること」
「語り継ぐこと」 | 10 Do what you can now to prevent
anyone else from experiencing the
same thing;
continue to take shelter,
prepare,
and continue passing on your
knowledge. |

(出典：『未来の命を守るために 2011.3.11 釜石からのメッセージ』釜石市)



考えてみよう・話し合ってみよう

- あなたが、家族に紹介するとしたらメッセージのどの部分でしょうか。
- 家庭で、命を守るための行動を話し合ってみよう。

13 ドイツ友好都市との交流

雫石町では1992(平成4)年に雫石町国際交流協会を設立し、1995(平成7)年にバート・ヴィンプフェン市と友好都市関係を締結し、その後ネッカーズルム市も交流先に加わりました。

第10回自治体国際交流表彰(総務大臣賞)を受賞

雫石とドイツの交流は盛んで、1998(平成10)年以降、雫石町からドイツへ16回も交換留学生を派遣しています。交換留学事業のみならず、町内民族芸能団体がドイツを訪問し「さんさ踊り」を披露したり、サッカーチームによる交流試合を行ったりするなど、文化・スポーツ面の交流も行われています。東日本大震災直後には、交流のあるドイツの学生たちが中心となって募金活動を行い、義援金が日本に届けられました。これらのことをサポートし、雫石とドイツとの交流の取組などが評価され、雫石国際交流協会は2016(平成28)年に第10回自治体国際交流表彰(総務大臣賞)を受賞しています。

ドイツを相手国として「復興『ありがとう』ホストタウン」に登録

雫石町は2018(平成30)年4月にドイツを相手国として東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に係る「復興『ありがとう』ホストタウン」になっています。さまざまな交流活動が行われていて、2018(平成30)年10月には、パラリンピック競技のロンドン大会、リオデジャネイロ大会で金メダルを獲得したハインリッヒ・ポポフ選手の講演会が行われました。講演のなかでポポフ選手は、「立ち止まらない勇気の大切さ」を話していました。

2019(令和元)年6月にはドイツの学生ら17名が雫石町を訪れ、書道や着物の着付けをはじめ、様々な文化などを体験しました。ヘルマングライナー校長は、「インターネットでどこの国の人たちとの交流も可能になったが、自分で飛行機に乗ってその国へ行くのはとても重要なことだ。」と話していました。



着物の着付け体験

着付け：
・帯はきついけど楽しい。
・着物、もうぬぎたくない。



書道体験

書道：
・正座はできないよ。
・これが日本文化ね。



調べてみよう

- 災害後、岩手県はどのような国から支援を受けたか調べてみよう。

14 興田中学校応援団 「シイタケ王国」の復活を願う

一関市大東町は2011(平成23)年3月11日の東京電力福島第一原子力発電所事故が原因で、原木シイタケの出荷が制限されました。シイタケ農家を励まそうと一関市立興田中学校が立ち上がりました。

2014年に興田中学2年生が作成したカレンダー



絵手紙でエールを送る

原発事故の影響は150キロ以上離れた一関市にも及びました。出荷制限が続き、廃業を考えるほどシイタケ農家は苦悩していました。この姿を見て自分たちにも何かできないかと考えて興田中学校の生徒が2013(平成25)年に描いたのが、絵手紙でした。

1枚1枚、丁寧にシイタケが描かれ、「力強く生きます。」「まだ生きている」「いつまでもいつまでもはえかわる」などの応援メッセージがそえられていました。このメッセージにシイタケ農家の人たちは勇気をもらい、再び動き出したのでした。



「力強く生きます。」(2013年作成)

カレンダーや看板で応援、そして東京でシイタケを販売

興田中学校では、地元を継続的に応援するためにカレンダーの作成も手がけました。2014(平成26)年は「がんばろう大東 ~絵手紙に希望をのせて~」のテーマで、シイタケの絵手紙をカレンダーにしました。2015(平成27)年には「興田の宝物」のテーマで作りました。この年以降もテーマをかえて、毎年カレンダーを作っています。

2015(平成27)年にはシイタケ応援用の看板のデザインを担当しました。「未来へ伸びる」「すくすく育つ」の言葉と共に、4つのほだ木に20個のシイタケをあしらった絵柄にしました。

また、一関市のシイタケは2015(平成27)年に出荷制限が一部解除されました。そこで興田中学校の生徒たちは、生産が再開されたシイタケをPRしようと、2016(平成28)年4月13日、東京・銀座の「いわて銀河プラザ」で原木乾シイタケを販売しました。販売した生徒たちは、「シイタケは完売できた。しっかり東京の人たちにアピールできたと思う。」と喜んでいました。



「おいしいたけ弁当」(2017年)



考えてみよう

- あなたは興田中学校の生徒の行動力をどう思いますか。
- あなたは仲間が困っているとき、どのようなことを考え、行動しますか。

15 「かるまい学」でふるさとを知る・学ぶ・活かす

かるまい かるまい
軽米町立軽米中学校では「ふるさとを愛し、誇りに思い、将来自信を持って軽米を語るこ
のできる生徒」の育成を目標として、ふるさと学習「かるまい学」に取り組んでいます。

ふるさとを知る ～1年生『軽米の歴史・文化・自然を学ぶ学習』～

ディスカバー軽米：軽米町の太陽光発電、バイオマス発
電所等を訪問し、軽米町が再生可能エネルギーへの取組
が全国でも有数であることを学びます。

「普代村での震災学習」：東日本大震災の被害、その後の復
興を普代中学校とともに学びます。

「雪谷川豪雨災害学習」：20年前の豪雨による雪谷川氾濫。
当時、取材にあっていた岩手日報の記者を招いて、被
害や復興の様子、地域の方々の願いを学びます。



東日本大震災の津波から村を守った「普代水門」

ふるさとに学ぶ ～2年生「人とのふれあいを通し、社会人として必要な力を探る学習」～

「職場体験学習」：町内約40の事業所に協力をいただき実施。働くことを通して、
自分自身を見つめなおし、社会人として必要な力について考えます。

「宮古市田老地区での震災学習」：東日本大震災の津波被害に遭った防潮堤や「た
ろう観光ホテル」を見学。被害状況や当時の様子を学びます。



東日本大震災の津波で1、2階の
フロアが抜けた「たろう観光ホテル」

ふるさとに活かす ～3年生『社会貢献活動を通し、将来の生き方を考える学習』～

「おかげさま活動」：軽米町に感謝の気持ちを表す活動を自
分たちで考え、実践。介護施設訪問、町内ごみ拾い、ガー
ドレール磨きなどを行います。

「郷土芸能伝承活動」：2019年度、地域の郷土芸能保存会
「沢田神楽」「山内神楽」「駒踊り」「宇漢米太鼓」の方々をお
招きし、お話を聞く会を実施。その後、「山内神楽」の演
舞に学年全員で取組ました。



郷土芸能伝承活動



やってみよう

●あなたの住む地域を「知る」「学ぶ」「活かす」でまとめてみよう。

16 SHEL 学習で環境とエコを学ぶ

盛岡市立下橋中学校では、『SHEL活動』と名付けた活動をしています。『SHEL』とはS(下
橋中で)、H(人と)、E(環境を)、L(学ぼう)の頭文字をつなげたものです。

自然に触れて学ぶ

1年生では森林(小岩井農場の森と沢)と川(中津川)につい
て学びます。森林学習では、岩手大学の教授に森林と温暖化
の関係を教えてもらいました。また、岩手大学が管理してい
る森で草刈りを体験しました。川学習では下橋中学校の近く
を流れる中津川の生物や環境などを観察しました。このよう
に自然と触れ合うことで、生き方、自然とのかかわりなど多くのことを学びます。



草刈りを体験

人に接して学ぶ

2年生では、修学旅行でNGO(非政府組織)やNPO(非営
利組織)を訪問したり、講演会を聞いたりして、世界の環境
や砂漠化などについて学びます。また宿泊先のホテルでは講
演会を開いてもらい、世界の砂漠化などについて聞きます。
また、班ごとに環境に力を入れている企業を訪問し、環境に
役立ててほしいと寄付もしています。これらの経験を通じて、
2年生では望ましい職業観や勤労観、社会奉仕の精神を学びます。



企業を訪問して講演

夢を実現するために学ぶ

3年生ではこれまでの学習に加え、「森は海の恋人」体験学
習で植林活動をし、漁師の畠山重篤さんの講演を聞きます。
畠山さんは宮城県気仙沼湾でカキやホタテの養殖をしていま
す。湾内の環境悪化を改善するために始めたのが、湾に注ぐ
大川上流にある室根山の植林運動です。植林をすると栄養分
が川を下り、それが海に注ぎ、カキの養殖などに役立つのです。
3年生の活動では、未来への夢や目標を持ち、自らその実現に向かおうとする態度を学びます。



畠山重篤さんの講演



やってみよう

●あなたが自然に触れて、人に接して、夢を実現するために「学んだこと」をまとめてみよう。

17 チャグチャグ馬コ クリーン作戦

滝沢市立滝沢南中学校はチャグチャグ馬コクリーン作戦が評価され、2019(令和元)年、小さな親切運動本部より「小さな親切」実行章を贈られました。生徒たちは「来年度以降もこの活動を続ける。」と張り切っています。



「小さな親切」実行章を受章

チャグチャグ馬コ



チャグチャグ馬コの行列

毎年6月に岩手県滝沢市で行われる「チャグチャグ馬コ」は、農耕馬に感謝を込めて行進する伝統行事です。色鮮やかな装飾で着飾った100頭ほどの馬と馬主が、滝沢市の約13キロの道のりを4時間ほどかけて行進します。馬に付けられた鈴が歩くたびに「チャグチャグ」と鳴るので、そう名付けられたそうです。

この祭りは200年以上の歴史があります。1978(昭和53)年には文化庁から「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に、1996(平成8)年には「チャグチャグ馬コの鈴の音」が環境庁から「残したい日本の音風景100選」に選ばれています。

チャグチャグ馬コ クリーン作戦

3年生によるクリーン作戦は、2009(平成21)年頃、「地元で大事にしているチャグチャグ馬コに向けた活動をしよう。」という目的で始まりました。それまで校内で行っていた奉仕活動を地域に広げる狙いがありました。現在は祭りで使う道路だけではなく、地域全体をきれいにし観光客を迎えるための活動へとより広がっています。2019(令和元)年度のクリーン作戦は3年生約230名で実施しました。

(生徒の感想)

- ・自分たちの取組で、滝沢市に来た人が「きれいな町だなあ。」と思ってくれると嬉しい。
- ・町をきれいにし、自分の心もきれいになる。
- ・たばこの吸い殻や枯葉も多かった。こういう機会があると、自分のためにも町のためにもなる。



地域全体のクリーン作戦を行う中学生たち



やってみよう

- あなたが地域のためにできることを話し合い、実践してみよう。

18 修学旅行で先輩と交流 奥中山中学校のキャリアアップ教育

一戸町立奥中山中学校3年生は、修学旅行で関東在住の先輩たちと交流しています。ふるさとの想いなど、貴重な意見を先輩から聞いています。

10年続く「先輩と語る会」

奥中山中学校は同窓会活動がさかんで、ふるさとを離れ、関東で働いている先輩たちの活動もまたさかんです。そこで、修学旅行での先輩たちとの交流が2009(平成21)年から始まりました。そして、「先輩と語る会」としてずっと続いています。

「先輩と語る会」は修学旅行初日の夜に開催されます。様々な話題が出ますが、「夢を実現するために東京に来た」などという先輩の言葉に、生徒たちは驚き、納得します。

語る会はまた、生徒たちに故郷や奥中山中学校の良さを気づかせてくれます。たとえば、盛岡みたけ支援学校奥中山校との交流が40年前から続いていることを先輩たちは自慢し、ほめてくれます。このように、故郷を離れた先輩から話を聞くことで、生徒たちは多くのことに気づかされています。



和気あいあいと談笑(2019年4月)



夢を実現するにはどうすればよいですか。

いま勉強していることをしっかり身に付けること。基礎が身につくと夢がかわっても対応できるよ。



私たちはどのように生きればよいですか。

夢をもって、しっかり基礎勉強をして生きてね。

関東支部結成

「先輩と語る会」が始まって数年後の2015(平成27)年、奥中山中学校関東支部が結成されました。先輩たちとふるさとを応援するにはしっかりした組織が必要との判断からです。支部長・副支部長・事務局などの役員を置き、年1回総会を開き、年2回「関東支部ニュース」という機関誌を発行しています。機関誌には会員の動向のほか、ふるさと奥中山や奥中山中学校のこと、「先輩と語る会」の内容などが掲載されています。

東京2020オリンピック・パラリンピック支援のための奥中山地区模擬聖火リレー

1964(昭和39)年東京オリンピックにて、奥中山中学校2年、3年の男女40人が奥中山地区聖火リレーに伴走者として参加しました。その感動を再現しようと、先輩たちは、「東京2020オリンピック・パラリンピック支援のための奥中山地区模擬聖火リレー」を2020(令和2)年の奥中・みたけ交流体育祭で実現することをめざしています。



やってみよう

- 地域の人と交流したとき、印象に残っている話題や言葉などを紹介してみよう。

19 真崎わかめ復活物語

—田老第一中学校の生徒会企画劇—

A: …それで、今回伺ったのは、お宅にあるわかめ養殖用の糸を分けてもらいたくて…。

B: うちじゃないと、ダメなんですか？

A: もう、この岩手県自体に糸が残っていません。新品の糸はすぐに使えないということは…。

B: ええ、知っています。息子も半年以上かけて糸を使えるようにしていました。アグ抜きのため風呂にも一緒に入れるほどでした。

A: ……。

B: だからこそ、この糸は息子の形見のような気がしてならないのです。

A: 分かります。ですが、田老の復興のためには、わかめ養殖の再開が絶対に必要なのです。田老の漁師のため、そして田老のためにその糸をぜひとも分けていただけないでしょうか？



『真崎わかめ復活物語』第2部

2019(令和元)年10月27日、宮古市立田老第一中学校の一中祭(文化祭)で上演された生徒会執行部企画劇『真崎わかめ復活物語』は、地域の特産品である真崎わかめを題材に、第1部では東日本大震災前の田老、第2部では震災直後の困難な状況でわかめ養殖の再開にかけ人々、第3部では復興に向けて動き出した田老、そして5年後の未来を描いています。冒頭のシーンは第2部の終盤、わかめ養殖にどうしても必要な種付け用の糸を分けてもらおうと、漁協職員が震災で漁師だった息子をなくした母親をたずねるところです。

一中祭では、2013(平成25)年度から、田老地区の過去の津波被害と復興の歴史、そして田老の未来を描く3部作を上演、それが2巡した次がこの『真崎わかめ復活物語』でした。

制作にあたり、まず生徒全員が明治三陸地震津波から東日本大震災までの写真や文献、震災を体験した先輩の作文などがある校内の震災資料室ボイジャーで学習。さらに、震災前の様子



舞台の最後は全校合唱曲『Voyager』

や、どうやって真崎わかめを復活させていったのかについて地域の人々に取材して脚本を作り、練習を進めていきました。

舞台を見た地域の人たちからは、「田老地区の未来づくりを学習・発表してくれた田老一中ありがとう。」「活気ある町づくりに頑張りましょう。」と感謝されました。

生徒会執行部企画劇は、生徒たちが地域を知るためだけでなく、震災を伝えて命を救い、地域と共に未来をつくるためのものなのです。



話し合ってみよう

- あなたの住む地域で、後世に残したいものを話し合ってみよう。

20 地元特産の漆を生かした浄法寺塗

日常で使うことを目的としてつくられ、素朴で落ち着いた色の浄法寺塗。低迷の時期を乗り越え、国内のみならず、海外でもその良さが認められています。

復活した浄法寺塗

1300年ほど前、僧侶の行基が浄法寺町に天台寺を建てたと言われています。その後、天台寺の僧侶が使う食器をつくり始めました。これが浄法寺塗のはじまりと言われています。その後江戸時代には、浄法寺塗は南部藩の重要な産物となり、大正時代には日本だけでなく中国や朝鮮にも出荷され、販売されました。

1970(昭和45)年ごろ、浄法寺塗は売れなくなり、職人が減り、消えそうになりました。それを2005(平成17)年ごろ、漆を生かした無地のデザインにするなど地元の人たちの努力で、浄法寺塗を復活させたのです。

「漆と出会えてよかった」

私は二戸で生まれ育ち、漆の仕事に携わることができ、とてもやりがいを感じています。地元にある素材(漆)を使って良いものが作れる、そして漆に関わるさまざまな職人さんや他業種の方との交流など、違う世界も見ながら刺激をもらっています。漆器の魅力を感じられたことも含め、漆に出会えたことは私の人生でも大きなことだと思っています。(滴生舎 工藤良子)



地元産の、質の良い漆を使った浄法寺漆器。飽きのこない、しぶい色合が特徴



漆器工房「滴生舎」と工藤さん(左)。見学も多い

いざ、ニューヨークへ

2015(平成27)年10月、二戸市の職員一行がアメリカのニューヨークを訪れ、「にのヘシティフェア in ニューヨーク2015」を開催しました。これは二戸市が誇る浄法寺塗を世界に発信し、ブランド力を高めるためでした。現地では浄法寺塗の展示会が開かれました。漆の採取方法や漆塗りの作業工程を説明するコーナーが設けられ、漆掻きや漆塗りの実演などがありました。

このイベントは大成功に終わり、ニューヨークの高級日本食レストランなどでは浄法寺塗が使われるようになりました。



調べてみよう

- 県内外にある伝統工芸品を調べ、違いを調べてみよう。

21 英語教育の町 かねがさき 金ヶ崎

金ヶ崎町では、1987(昭和62)年度から中学生のアメリカ研修を行っています。これまでに約580名がマサチューセッツ州アマースト町を中心にアメリカでの生活を体験しています。



ニューヨーク見学(リパティ島にて)

アメリカ研修は大なる冒険への挑戦

アメリカ研修は当時の町長と教育長が、「積極的な郷土愛を生む」「国際感覚を持った町民の育成」「国際平和に貢献」することを目的に決めたものです。

町長と教育長の決断により、中学生たちはオレゴン州を中心にアメリカ各地を視察しました。ポートランドやメドフォード、サンフランシスコなどの都市やコロンビア川大渓谷、オレゴン大砂丘などを見学し、一般家庭も訪問。生徒たちはホームステイの後半には英語での会話もでき、「(会話には)辞典がとても役に立った。」「アメリカが大好きになった。」と感想を述べていました。

第2回目以降のアメリカ研修は、金ヶ崎町の姉妹都市であるアマースト町に行っています。



アメリカの授業を体験

ELT(英語指導助手)のダニエル先生は金ヶ崎町職員

金ヶ崎町では、2014(平成26)年度から町内全ての小学校全学年で英語の授業を行っています。英語教育に大きな役割を果たしているのがELTで、2015年度から4人体制です。そのリーダーとなっているのがダニエル・デグラスさんで、2014年度から金ヶ崎町の職員です。

デグラスさんが中心となってアメリカ研修を行っているほか、グローバルキャラバン(小4~6年生の日帰り2日間英語キャンプ)、イングリッシュキャンプ(中学1・2年生対象、1日中英語漬け)、イングリッシュ道場(中学3年生の受験対策)などを行っています。デグラスさんは、「金ヶ崎の子どもたちは英語にとっても意欲的。わからない単語があっても会話にどんどん挑んでいきます。」とたいこ判を押しています。



イングリッシュ道場。楽しく学んでいる



話し合ってみよう

●あなたが、外国語で会話できるようになったら、どんなことに挑戦したいか話し合ってみよう。

22 岩手の海で育ち、かつやく 世界で活躍する南部潜り

写真は岩手県立種市高等学校海洋開発科の潜水実習の様子です。同校のある洋野町は、日本の海洋開発分野を支える「南部潜り」発祥の地です。

潜水夫の才能を開花させた磯崎定吉

1898(明治31)年、種市村(現在の洋野町種市)の沖合で濃霧のため貨客船名護屋丸が座礁・沈没しました。翌年、この貨客船の解体・引き揚げのため4人の房州潜り(現在の千葉県を本拠とした潜水夫)がやってきました。

潜水夫たちの長・三村小太郎は、地元の青年・磯崎定吉の潜水夫としての才能を見抜き、定吉に潜水服とヘルメットを身に着けさせ、一通り簡単に教えただけで海中に潜らせました。

三村は自分の代役をこなした定吉を直弟子として潜水技術の特訓、定吉は習得するには2年ほどかかると言われていた技術を2~3か月で身につけてしまったと言います。

その後、定吉は十和田神社再興のため参拝者が数百年にわたって十和田湖に投げ入れた賽銭を引き揚げることに成功し、磯崎定吉の名は多くの人々に知られるようになりました。定吉は種市の人間として初めて潜水を職業とし、その人生を種市の潜りの発展のために捧げたのです。人々は、かつて種市が八戸南部藩の領地だったことから、いつしか能力の高い種市の潜り(潜水夫)を「南部潜り」と呼ぶようになったのです。現在、沈没した船の調査・引き揚げや、港湾や橋の工事の水中作業、海洋調査などを行う「潜土工」は国家資格となっています。

種市高校海洋開発科は、学習と実習を通して土木と潜水の基礎知識を学ぶことができる全国で唯一の学科であり、潜土工の育成も行っています。卒業生の活躍の場は国内だけでなく、全世界の海に広がっています。

「南部潜り」は、現在も岩手の海できたえられ、全世界で活躍しているのです。



実習を行う海洋開発科の生徒たち



考えてみよう

●磯崎さんは、どのような思いで「南部潜り」の仕事をしていましたか。

23 「北上を世界のニットの聖地」にしたい

株式会社UTOは、北上市にある自社工場でカシミアニットを製造しています。北上市など岩手出身の職人さんたちがプログラミングから仕上げまで一貫して行い、北上を世界のニットの聖地にしようとがんばっています。

カシミアニットをオーダーメイドで作る

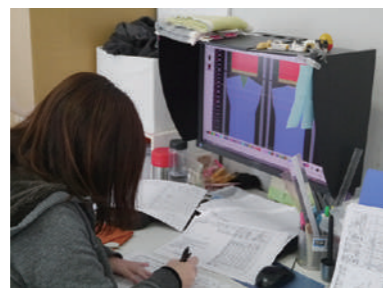
「カシミア」って知っていますか。カシミアはヒツジではなく「カシミアゴート」というヤギのことで、そのうぶ毛から採れるカシミア糸を使ってカシミアニットができるのです。1頭のヤギから採れるうぶ毛はわずか170グラム前後。セーターを1枚作るのに、2〜3頭分のうぶ毛が必要です。カシミア糸はとても細く、この細い糸で作るので、ふんわりして軽く、暖かいニットができるのです。

UTOの魅力の一つはカシミアニットをオーダーメイドできること。自社工場のプログラミング、編立て、リンクング、仕上げまでの一貫作業がそのことを可能にしています。

チームワークの良さで最高級のカシミアニットを作り上げる

UTOは以前、山梨県に工場があったのですが、ニット作りの職人がいなくて閉鎖に追い込まれました。そのとき、北上市に若い職人がいる、場所もあると教えてもらい、移転を決意したのです。東日本大震災が起こった年(2011[平成23]年)の10月1日に引越し、10月17日には製品ができるという奇跡が起こりました。

3人で始めた工場は2018(平成30)年、11人になっています。地元の20代、30代を中心とする職人さんたちが、子育てしながら、協力しながら、世界最高級のカシミアニットを作っています。



専門知識を要するプログラミング



機械での編立て



最も難しいリンクング



ふっくらした風合いを作る仕上げ



調べてみよう

- 地域の特色ある産業を調べてみよう。

24 若者が帰ってきたくなる町に —地域づくりに高校生の声—

地域には様々な課題があり、その解決のために、若者のアイデアが必要とされています。岩手県立久慈高等学校、久慈東高等学校、久慈工業高等学校の例を見てみましょう。

サケが生まれた川に戻ってくるように若者のUターンをうながそう

2019(令和元)年12月23日、久慈市役所で開かれた「RESASを活用した政策立案ワークショップ」には、市職員や地元企業関係者に久慈高校、久慈東高校、久慈工業高校の生徒を加えた約80人が参加し、議論を交わしました。

このワークショップは、国の地域経済分析システム「RESAS」を使って市職員が提案する政策を検証していくもので、今回の議論の対象は人口減少対策として策定を進めている「シャケ式子育て支援マスタープラン(シャケマス)」です。サケが生まれた川に戻ってくるように若者のUターンをうながそうというもので、子育て世代向けの賃貸住宅の整備や全天候型児童遊戯施設、全世代交流カフェや、Uターンで返済が免除される奨学金制度の創設などが提案されていました。

高校生たちは「カフェの場所に商店街の空き店舗を使えないか。」というアイデアや「奨学金はありがたいが、それだけでは帰ってこない。」という意見を提示、活発な議論を交わしました。

地元・久慈の企業経営者も、高校生の意見・アイデアを取り入れていこうとしています。久慈商工会議所の工業運輸業部会が主催する「未来ディスカッション」は、企業経営者と地元高校生の意見交換会で、第1回は2018(平成30)年9月18日、第2回が2019(令和元)年10月30日に開催されました。

この会では、地元を代表する企業の経営者と久慈東高等学校の生徒が「高校生の働くことへの期待や不安」「経営者の従業員採用のポイント」「人口減少のなかのふるさと未来」「ふるさとで働くことの魅力」などについて意見交換を行いました。

参加した経営者からは「高校生の意見・想いを聞くことができてよかった。」「経営を見直すときの参考にしたい。」などの声が聞かれたといいます。



ワークショップで意見交換をする
久慈東高等学校の生徒



話し合ってみよう

- あなたの地域のよさを生かすための方法を話し合ってみよう。

25 過去から継がれたこの路を 未来に繋ぐこの路を ——野田村の太陽たち——

「野田村の太陽になろう」。野田村立野田中学校の生徒の合言葉となっているこの言葉は、2012(平成24)年5月、体育祭で当時の生徒たちが掲げたものです。

太鼓で元気と笑顔をお届け

東日本大震災の発災から1年あまり、校庭には仮設住宅が建ち並び、体育祭はテニスコートで開催されました。そんな中でも生徒たちには「自分たちのがんばる姿で、深く傷ついた村の人たちに元気と笑顔をお届けしたい」、そして「支援のために村に来てくれる人たちに感謝の気持ちを何かで伝えたい」という想いがありました。この2つの想いを受けて始まったのが、野田中創作太鼓です。



今でも掲げられている当時のフラッグ



震災以降、交流を続けている兵庫県西宮市での演奏

そのルーツであり、今も代表曲である『路〜いざ歩まん〜』を提供したのは、宮城県の和太鼓奏者・作曲家の佐藤三昭さん。この楽曲は2013(平成25)年2月、三送会(3年生を送る会)で初演されました。当時、野田中学校にあった和太鼓は2台だけ。足りない分は宮古市立川井中学校や岩泉町立安家小学校などから借り、古タイヤにテープを張った「輪太鼓」や山から切り出した「竹」も使いました。その後、様々な団体・個人から和太鼓が寄贈され、現在の編成が整ってきました。

発表の場も、野田まつり、岩手県中学校総合文化祭、コボスタ宮城(現在は楽天命パーク宮城)での演奏へと広がり、2017(平成29)年9月には三陸沿岸道路浜山トンネルの開通式で、そして2020(令和2)年1月18日には兵庫県西宮市での「被災地きずなコンサート」で演奏、生徒たちの想いと野田村の復興を発信し続けています。

演奏楽曲も『野田中囃子』『陸奥』を加えて3曲となりました。

野田中創作太鼓は、2020(令和2)年度の3年生で「8代目」となり、合唱、野田中ソーランと共に「野田中三大文化」としてすっかり定着しました。『路〜いざ歩まん〜』の曲解説詩には「過去から継がれたこの路を／未来に繋ぐこの路を」という一節があります。野田中学校の生徒たちは、今も「野田村の太陽」として、この路を照らしているのです。



考えてみよう

- なぜ、「野田村の太陽になろう」と考えたのでしょうか。

26 地域を学ぶ・地域から学ぶ「大迫学」

花巻市の大迫町は、郷土芸能が多く継承され、長い歴史と文化を誇る町です。花巻市立大迫中学校はそのような伝統文化を受け継ぎ、「大迫学」として学び、実践しています。

「大迫学」とは何か

大迫町が継承する早池峰神楽は1976(昭和51)年に国の無形民俗文化財の指定を受け、2009(平成21)年にはユネスコの無形文化遺産として登録されました。また、大迫はかつて遠野街道の宿場町として栄えたところで、2017(平成29)年には宿場町として400年目の節目を迎えています。このような大迫町の伝統と文化を地域の方から学ぶ取組が「大迫学」です。その内容は、歴史、文化、伝統芸能、産業と多岐に渡ります。

[2018年度大迫学実践例]



第3回「国際交流」



第8回「大迫のひな祭りの歴史」

大迫の宝 早池峰神楽

早池峰神社に奉納される「岳神楽」と、大償神社に奉納される「大償神楽」を総称して「早池峰神楽」と言います。もともと早池峰神楽は、山伏が伝えたとも言われていますが、早池峰山への信仰があって成り立っています。生活と信仰がしっかりと結びついて、生活の中の祈りが舞いとして表れているもの、それが「早池峰神楽」です。



大迫高校生による大償神楽を鑑賞する大迫中学校の生徒たち

体育祭で神楽(しながく)を舞う

大迫中学校の体育祭で、男子は「神楽(しながく)」を舞い、女子は風呂敷を手に、地域の歌である「岳川(たけ)にうたう」に合わせた創作ダンスを披露します。神楽(しながく)は先祓いのために権現舞や神輿に先立って踊るもので、神楽幕を張ってその中で踊る幕神楽(まくかぐら)とは区別されます。この2つの踊りを総称して神楽(かぐら)と呼びます。大迫中学校では、大償神楽保存会の指導で神楽(しながく)を練習し、その成果を体育祭で披露しています。



体育祭で男子は「神楽(しながく)」を披露



話し合ってみよう

- 地域の伝統芸能等には、どのような思いが込められてるのか話し合ってみよう。

27 ひらいずみ 平泉中学校における「郷土・平泉学」

世界遺産登録をきっかけに始まった「平泉学」。平泉町立平泉中学校3年生は、これまでの学習をもとに、観光客にガイド体験を行っています。

過去を知り、今を知り、未来へ広げる

中学校1年生のテーマは「過去を知る」で、学校独自の『郷土・平泉学』というテキストで平泉の歴史を学習します。また、特徴的な学びに「わくわく平泉学スクール」があり、町内の僧侶を講師に招き、写経と座禅を体験します。さらに「平泉学検定」を受けます。これは中学校独自の検定で、1年生全員で50点満点中45点以上の「1級」を取ることを目指します。

中学校2年生のテーマは「今を見つめる」ことです。平泉を支えている産業を取材したり、防災・減災の実情を知るために、昔の水害の歴史や現在の地域防災の状況を調べ、災害時の行動の仕方を学びます。



歴史探検(1年生)



遊水地学習(2年生)

平泉を伝える 修学旅行での平泉PR ガイド体験

中学校3年生では平泉を「未来へ広げる」ため、様々なアピール活動を行います。2018(平成30)年4月の修学旅行では、東京都荒川区の日暮里駅を訪れ、駅前で平泉の説明をしました。話を聞いてくれただけでなく「中尊寺についての丁寧な説明をしていただきました。若くて明るい子どもたちに触れ、久しぶりに中尊寺などへの旅に出かけたくなりました。」とメールを送ってくれた人もいました。10月には、観光客を相手に「平泉ガイド体験」をします。生徒たちはこの日に向けて、史跡ごとの説明の仕方などを学び、練習します。最初は緊張して小声の生徒もいますが、だんだん慣れて大きな声で分かりやすく説明できるようになります。また、外国の方のために、英語ガイドに挑戦する生徒もいます。このように平泉学の学びを生かして、平泉を日本へ、そして世界へ発信しています。



外国の方に英語で堂々とガイド(3年生)



考えてみよう

- あなたが、観光客のガイドになったらどこをどのように紹介しますか。

28 JRC委員会のボランティア活動

九戸村立九戸中学校にはJRC*(Junior Red Crossの略)委員会があり、地元の特別養護老人ホームや福祉センターなどでボランティアを行っています。

地元でのボランティア活動

九戸中学校JRC委員会は1997(平成8)年に発足し、地域でのボランティアを継続的に行っています。その一つは、特別養護老人ホーム「折爪荘」の夏祭りのボランティアです。JRC委員会の生徒を中心に午前は準備、夜は屋台での販売を手伝って祭りを盛り上げています。また、地元の総合福祉センターでは、ワックスがけ奉仕作業を行っています。この奉仕作業は代々3年生の親子PTA活動の一環となっています。大きな機器の移動、クレンザーがけ、拭き取り、ワックスがけと、少人数では何日もかかる作業を2時間で終え、床はピカピカになり利用者の方にも喜ばれました。

また、「声の広報」朗読ボランティアも行っています。これは、九戸村社会福祉協議会が主催している活動で、在宅視覚障がい者サービスの一環として、毎月発行される村の広報や社協だより等を朗読し、録音されたテープを希望者に貸し出すものです。その朗読を委員会のボランティア活動として取り組んでいます。



屋台での販売



床をピカピカに



朗読ボランティア

* : JRCとは…JRCはJunior Red Crossの略で、日本では「青少年赤十字」と呼ばれている。第一次世界大戦の時、カナダ、アメリカ、オーストリアの学校の生徒たちと先生が、戦場となったヨーロッパの国々の少年少女や傷病者を慰め、励ますために、慰問品を赤十字に託して送ったことがきっかけで始まった。世界191の国と地域の学校にJRCの組織があり、岩手県では小学校90校、中学校39校が加盟している(2019年4月現在)。



やってみよう

- 自分たちが、地域のためにできるボランティア活動を企画し、実践してみよう。

29 中学生の地域ボランティア

ラグビーワールドカップ2019が日本で開催されました。大いに盛り上がりましたが、令和元年台風第19号の影響で試合が中止になったことを覚えている人もいます。岩手県でも令和元年台風第19号の被害があり、復旧のボランティアに中学生が参加していました。

台風第19号は列島を走った

2019(令和元)年10月6日、太平洋上の熱帯低気圧が台風となり、「ハギビス」と名付けられました。ハギビスとはフィリピンの言語で「迅速な対応」、つまりすばやいことを意味します。日本では令和元年台風第19号とよばれました。大型で強い勢力の令和元年台風第19号は、12日に静岡県伊豆半島に上陸しました。そのまま日本列島を北上、関東地方や東北地方に記録的な大雨をもたらしました。13日には温帯低気圧に変わりました。令和元年台風第19号が去った後、岩手県に残されたものは甚大な被害でした。

立ち上がった中学生たち

令和元年台風第19号の被災地で大変なことは泥の撤去でした。高齢者だけでは重い土砂の撤去が難しく、ボランティアによる協力が必要でした。そこで立ち上がったのが、地元の中学生でした。山田町立山田中学校では3年生88名が、田の浜地区の土砂を撤去し、土砂で汚れた家のふき掃除をしました。なかには自分の自宅が浸水被害を受けた生徒もいました。その翌日には豊間根中学校の全校生徒約50名が、同じく田の浜地区でボランティア活動をしました。

田の浜地区の住民からは「何倍もの力になります。おかげさまで助かりました。」「せっかくの勉強を休んできてくれて、ありがたいなあと思っています。」との声が聞かれました。

山田中学校と豊間根中学校は、2020(令和2)年4月に統合されました。こうしたボランティアで汗を流した生徒たちは、いったいどんな学校をつくっていくのでしょうか。

【中学生の感想】

泥の量が多くて驚きました。家の片づけに行くと窓ガラスは割れていて、家の中には泥が入った跡がありました。さらに壁を見ると泥の汚れが自分より30cmほど高いところまであり、台風の被害の大きさを改めて実感しました。



土砂を撤去する山田中学校生徒



泥だらけの家財を洗う豊間根中学校生徒



考えてみよう

- あなたが、ボランティア活動をしなればいけないと思う時は、どのような時でしょうか。

30 あなたのの中に生きている —たの はた 田野畑中学校の文化祭劇—

大切な、かけがえのない存在を失ったとしても、共に過ごした時間を忘れなければ、全てを失ったことにはなりません。本当に失うとは、自分達の記憶から消えてしまうこと。その人のことを思い出さなくなることだと思います。



『海のモノ語り』

田野畑村立田野畑中学校には、文化祭で全校演劇を上演する伝統があります。過去の作品を見てみると、1847(弘化4)年に現在の田野畑村切牛地区で始まった南部三閉伊一揆など、地域の実話に基づいたテーマを選んで舞台を作ってきました。最近では、実話のない完全オリジナルの物語にも挑戦しています。

2018(平成30)年度の『海のモノ語り』は「大きな自然災害」である島に流れ着いた机・金庫・マグカップ・時計・鏡といったモノたちが自分を使っていた人間について語る芝居でした。

2019(令和元)年度の『奇跡～He lives in you～』は、亡くなった人々にはそれぞれ地上に残された人を助ける奇跡を1度だけ起こすことが許される——ただし、奇跡の代償として地上の人は亡くなった人の記憶を失う——世界での、「震災」で亡くなった父親と残された娘の物語です。

どちらも、観客となる地域の人々の心情を考えて「東日本大震災」を明示していません。親しい人を失った人が、観客に含まれているからです。

上のせりふは『海のモノ語り』からのもの、そして次のせりふは『奇跡～He lives in you～』からのものです。

実話に基づかなくとも、「東日本大震災」と明示しなくとも、全校演劇には「いのち」という1つの大きなテーマが含まれているのです。

困難に遭遇したとき、あの人がそばにいてくれたら、どんな言葉をかけてくれるだろうって考える。けれど、願っても願っても、その言葉を聞くことは出来ない。だから自分で一生懸命考えて、こんな言葉をかけてくれるはずだって、答えにたどり着く。でもそれって、実は、自分で生み出した、自分自身の力なんだよ。亡くなった人が何も伝えてくれないから、残された者は懸命に考えるんだよ。



『奇跡～He lives in you～』



話し合ってみよう

- 演劇に挑戦することになったら、どのようなテーマ、内容にしたいか話し合ってみよう。

31 小さな町の大きな貢献 住田町の後方支援

人口5,515(H31.1月、外国人含む)人の町は、東日本大震災のとき、同じ気仙地方に属する陸前高田市・大船渡市の救援に大きな役割を果たしました。

住田は陸前高田と大船渡を優先して応援する

「陸前高田市から来ました！ 市は壊滅状態です！ 支援をお願いします！ 電話も通信もできないので、連絡には横田分団が車で行ったり来たりします！」

2011(平成23)年3月11日夕方、陸前高田市消防団横田分団からの一報です。住田町災害対策本部では、連絡の取れない陸前高田市・大船渡市を心配して「住田は陸前高田と大船渡を優先して応援する。」と決め



たばかりでした。この瞬間から住田町の後方支援が始まりました。同日夜には大船渡市から消防団の派遣要請が、夜遅くから夜半過ぎにかけて陸前高田市から水・食料などの支援要請と消防団の派遣要請があいついで入ってきました。住田町では12日未明に給水車を陸前高田市に派遣、早朝に消防団員140名を出発させ、両市で捜索・救難活動を開始しました。派遣された消防団員は16日までの5日間でのべ675名。住田町消防団の全力出動でした。町職員には消防団員を兼ねている人も多く、町役場の業務は停滞しがちになりましたが、文句を言う町民はいません。だれもが「隣の市が困っていたら助けるのは当たり前」と思っていたのです。

おにぎりが希望と力を提供した

炊き出しは12日早朝から始まりました。停電のため、町内の商店でプロパンガスとガス炊飯器を手配してのスタートです。19日までに2万5,838個のおにぎりを両市と救援部隊に提供しました。米が足りなくなり、町民に協力を呼びかけました。農家が10キログラム単位でお米を持ち寄り、中には100キログラムを提供してくれる人もありました。

「震災の晩、みんな、体を寄せ合って体育館で過ごした。だれもが寒さと『これからどうなるんだらう』という不安の中にいたとき、朝一番に住田町から炊き出しのおにぎりが届いた。それをみんなで半分ずつ分け、食べた。食べたときに、『これで助かる。生きられるかもしれない。』とみんなが思った。」

避難所となった陸前高田市立第一中学校にいた人の言葉です。

被災地に力を 戦士に活力を

震災直後から「被災地の力になりたい。」とボランティアが次々と集まり始めました。しかし、陸前高田市の場合、ボランティアの受け入れ先となる陸前高田市社協(社会福祉協議会)の会長・事務局長以下13人が犠牲となり、事務所も被災していました。住田町社協では事務局次長を陸前高田市社協に出向させ、立て直しに協力。3月17日には災害ボランティアセンターを開設できるようになりました。さらに住田町は大股地区公民館をボランティアの宿泊施設として開放、宿泊施設の開設・運営を災害ボランティア自身に委ねました。この施設は後にボランティアの拠点として「住田基地」と呼ばれるようになります。

「被災地に力を 戦士に活力を」は、住田基地のボランティアの人々が掲げたスローガンです。

木のぬくもりが被災者を癒す

住田町は、町内に一戸建て木造仮設住宅を建て、被災者に無償で貸し出しました。

町内産の木材を活かし、町内の製材施設で加工し、伝統的な気仙大工が神社建築に使う「板の落とし込み」技法を応用して短時間で容易に組み立てられるこの住宅は、自衛隊のイラク派遣や四川大地震・ハイチ大地震をヒントにした「組み立ての簡単な木造建物のキット」という発想から生まれ、震災の直前に設計図ができたばかりでした。



木造仮設住宅は、町の特産物を活かした支援

最初の木造仮設住宅の着工は震災発生12日めの3月22日。早期着工・完成のために、建設予算は国や県を当てにせず、町長の専決処分(議会が決定することからを首長が代わって処理すること)で町予算から支出しました。町議会議員の反応は「やるからには『手抜きした』と言われないものを造れ！」というものだったと言います。

木造仮設住宅には陸前高田市・大船渡市・釜石市・大槌町から93世帯261人が入居。入居者からは「木のぬくもり、木の香りがありがたい。」「ここに来てから熟睡できるようになった。」「一戸建てで隣に音が通らないのがいい。」などの声が聞かれました。

「一戸建て木造仮設住宅」は、まさに「森林・林業日本一の町づくり」を掲げる住田町ならではの被災者支援だと言えるでしょう。



考えてみよう・調べてみよう

- 住田町でおにぎりを作った人たちは、どのような思いから、行動につながったのでしょうか。
- ボランティアセンターは、どのような役割を果たしたか、調べてみよう。

32 自分たちでの復興 —かまいしキッチンカープロジェクト—

東日本大震災の津波で、釜石市は大きな被害を受けました。

がれきの積み重なった街で、だれもがぼうぜんとするしかなかったそのとき、家族で始めたばかりの食堂を流されてしまった三塚浩之さんは、あきらめることなく、街の復興やその先のことを考え始めたのです。

とにかく灯りをともしたい



かまいしキッチンカープロジェクトを伝えるポスター

被災後すぐに三塚さんが考えたのは、店の再開についてだけではなく、自分と同じように店を流された仲間たちのこと、そして街のことでした。

多くの飲食店は、建物の持ち主に家賃を払い、場所を借りて営業しています。その店舗が、建物ごと津波で流されてしま

ったら、どうなるでしょうか。建物を失った持ち主には保険金や補償金が出るのですが、場所を借りていた飲食店にはそれはありません。

店舗を失うと、再開資金を稼ぐことも銀行から融資を受けることも難しいのです。このままでは、仲間の多くが飲食店をやめてしまうかもしれない。この先、津波で流された建物を建てなおすことができても、営業すべき店舗が残っていなかったとしたら、それは「街が復興した」とは言えません。そこで、三塚さんが考えたのはキッチンカーを使った店舗です。

「店舗を失った飲食店にキッチンカーで営業してもらおう。食べ物は何れもが必要とする物だし、飲食店を再開するための資金を稼げる。仕入れと売り上げを記録していけば、銀行から融資を受けるときの根拠にもなる。店舗が再開できたら『卒業』してもらい、空いたキッチンカーで別の飲食店に営業してもらおう。」

「がれきの荒野となった街に、とにかく明かりを灯りたい」という思いで三塚さんは仲間を集め、キッチンカーを用意し、地方運輸局に登録し、保健所に営業許可をもらい、出店できる場所を探しました。

最初の2台のキッチンカーが営業を始めたのは2011(平成23)年の6月9日。震災のわずか90日後のことでした。用意した弁当とカレーそれぞれ30食は、あっという間に売り切れしました。



復興と共に走り続けたキッチンカー

自分たちがやれる範囲でできることを

「あのころはいつ寝ていたのか分からない。営業が終わったら、日ごとに変わる仕入れ先にキッチンカーで向かう。材料を仕入れ、仕込みをして、そしてまた移動して営業。その合間に、みんなの仕入れと売り上げを記録した。」と三塚さんは当時のいそがしさをふり返ります。

2012(平成24)年1月には20名以上の出資者を集め、「かまいしキッチンカープロジェクト」や、被災したカキ養殖漁師の支援と水産業の復興を目指す「里海プロジェクト」などを進める非営利の株式会社釜石プラットフォームを立ち上げました。「寄付に頼らない、自分たちで復興する。」ということは最初から決めていました。

キッチンカーも増え、キッチンカーが集まるウッドデッキも設けました。隣の大槌町をはじめとして活動の場は広がり、全国とのつながりができました。2016(平成28)年の熊本地震のときには現地の支援を行いました。

2018(平成30)年6月、役割をはたした株式会社釜石プラットフォームは解散し、出資金はそっくり出資者に返還されました。それまでの7年間にキッチンカーで営業した飲食店は23事業者にのぼり、そのほとんどが店舗の再開などでキッチンカーを「卒業」していきました。

三塚さん自身も魚市場周辺にできた複合施設「魚河岸テラス」の2階に地産地消のレストラン「HAMAYUI」をオープンしています。

「被災地だからという問題ではなくて、地域を少しでも楽しくすることが自分たちがやれる範囲でできるのであれば、それはやったほうが後悔しないと思う。」と三塚さんは言います。



考えてみよう・話し合ってみよう

- キッチンカーは地域の人たちにとってどのような存在だったのでしょうか。
- キッチンカーが、復興・復旧に向かうまちに届けたり、広げたりしたものは何だったのか、話し合ってみよう。

33 おおつち 大槌高校復興研究会の果たす役割

大槌高等学校復興研究会は自主参加のグループながら全校の半数以上の生徒が参加し、大槌の復興と町づくりに貢献しています。高校生の活動内容を紹介します。

大槌高校は避難所となり、1つの町のように避難者を支えた

2011(平成23)年3月11日の東日本大震災で発生した津波は大槌町をもおそいました。津波は大槌高校に続く坂のすぐ下まで押し寄せてきましたが、高台にあったのが功を奏し、大槌高校は津波の被害を受けませんでした。街は津波で破壊され、大槌高校には町民が続々と集まりました。校庭は自衛隊の駐留所として利用され、教室は銀行や病院が入り、大槌高校は1つの町のように避難者を支えました。

避難所となった大槌高校の運営は、大槌高校の教職員と生徒が行いました。生徒たちも被災者でしたが、主体的に活動したのです。避難者名簿作成、布団のかわりに段ボールやカーテンの配布、食事の配給など、彼らができることはすべて行いました。

約1,000人の避難者の中に小さな子どももたくさんいました。その遊び相手となり、子どもの面倒を見たのも生徒たちでした。このように、避難者から必要とされるあらゆる役割を生徒たちが担いました。

やがて大槌高校に日本全国から支援が寄せられ、活発な交流も行われるようになりました。そして、これらの支援や交流、様々な活動をまとめるグループが必要となりました。こうして復興研究会が誕生しました。

4つの柱で地域を支える

2013(平成25)年から始まった復興研究会は自主参加であり、強制ではありません。それにも関わらず、全校生徒の約7割が活動に参加しています。主に次の4つの柱で活動しています。

① 定点観測

これは大槌町内180地点の写真を年3回撮影し、変わりゆく街並みを記録しています。復興研究会の代表的な活動です。

第19回の定点観測は2019(令和元)年5月18日と19日に実施されました。参加した3年男子は「大槌の復興の進行具合がわかるととても良い機会になった。」、3年女子は「復興が進むのを見て、たくさんの人が大槌のために頑張っていることを実感し、改めて感謝した。」と語りました。



定点観測活動

② 他校交流

大槌高校には全国から高校生がやって来るので、その生徒同士の交流をするのが「他校交流」です。テ

レビや新聞など、メディアの対応も復興研究会が行います。2019(令和元)年度には6つの高校が大槌高校を訪れました。様々な地域の高校生と交流することで、東日本大震災を経験した自分たちの地域とは現状や意識が違うことを知ることもあります。

③ 防災・町づくり

東日本大震災後、復興が進む中で大槌高校の生徒は町づくりに参画してきました。防災や環境に関するワークショップやセミナーにも参加し、高校生の視点から意見を伝えています。

また、東日本大震災の伝承活動も行っています。2020(令和2)年1月に兵庫県神戸市で開催された「ぼうさい甲子園」では、高校生部門の奨励賞を受賞しました。式典に出席した4名で被災体験を基に作った「ぼうさい紙芝居」を発表しました。

④ キッズ・ステーション

大槌高校が避難所であったころ、子どもたちの遊び相手をしていたことが契機で始まったのが「キッズ・ステーション」です。夏休みや冬休みの長期休みのときに町内の数か所の保育園や学童に行き、子どもたちの相手をしています。

2017(平成29)年12月、安倍晋三内閣総理大臣が岩手県を訪れた際、大槌高校を訪問しました。安倍首相は「復興研究会が立ち上げられて定点観測をしているという話を聞いた。大変心強く思った。」と述べました。大槌高校の生徒たちの若い力は、地域づくりの大きな原動力になっています。



静岡県の高校生と交流



「鎮魂の森ワークショップ」での発表



子どもたちと遊ぶようす



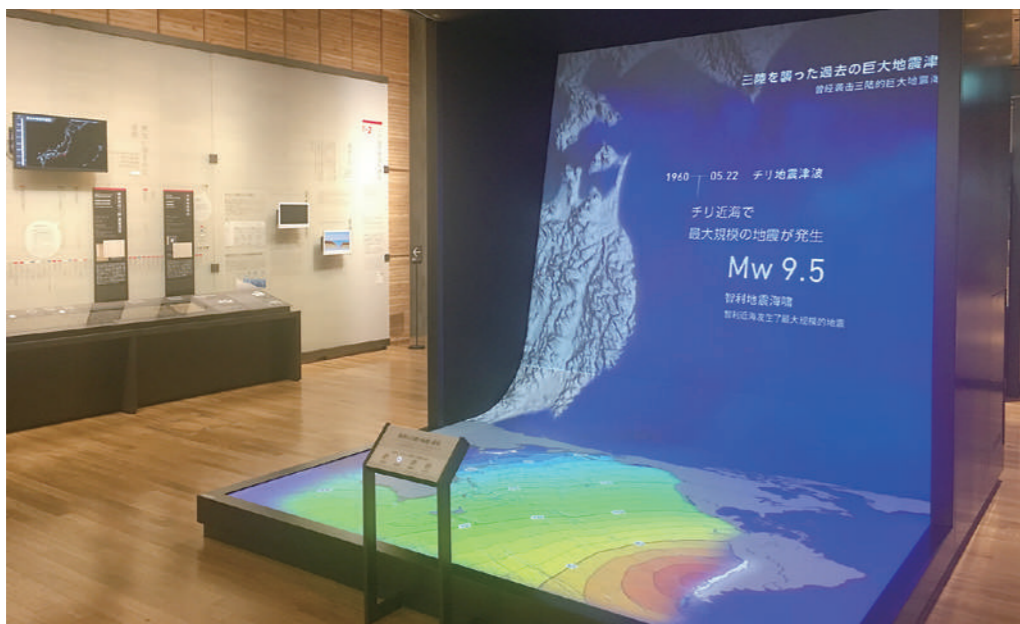
話し合ってみよう

●大槌高校の取組を参考に、あなたの地域を支える柱を話し合ってみよう。

34 未来をつくる

ひがしにほんだいにんさいつなみでんしやうかん
—東日本大震災津波伝承館 いわてTSUNAMIメモリアル—

りくぜんたか たか たまつばら
陸前高田市・高田松原。ここはかつて約7万本の松林が広がる景勝地でした。
2011(平成23)年3月11日、津波によって「奇跡の一本松」以外の松林はなくなり、現
在は高田松原津波復興祈念公園となっています。
2019(令和元)年9月、ここに「東日本大震災津波伝承館」がオープンしました。



ゾーン1「歴史をひもとく」

二度と東日本大震災の悲しみをくり返さないために

「東北地方太平洋沖地震」で起きた「東日本大震災津波」。皆さんは、あのときのことを覚えているでしょうか。

「東日本大震災津波伝承館」は、「東日本大震災津波」の事実と教訓を全世界の人々と未来へ伝承し、自然災害に強い社会を一緒に実現することを目指して作られた施設です。

施設はガイダンスシアターと4つの展示ゾーンからなっています。

ガイダンスシアターでは、津波襲来の「宿命」と「それを乗り越えようとする人間・社会」という視点で描いた映像が上演されます。

ゾーン1「歴史をひもとく」では、津波のメカニズム、くりかえす津波の歴史や日本の自然災害対策など、次に起こるかもしれない災害にそなえるための技術や知恵、文化を見つめ直します。

ゾーン2「事実を知る」では、津波で破壊された被災物、被災現場の写真や映像記録、被害者



ゾーン2「事実を知る」

の手記などを通して東日本大震災津波の事実を見つめ、津波の脅威や命の尊さを学びます。

ゾーン3「教訓を学ぶ」では、生きるための避難、命を救う・守る・支えるなど、発災当時の様々な人々の行動をひもとくことで、「東日本大震災津波」の教訓を学ぶことができます。

ゾーン4「復興を共に進める」は、国内・海外からの様々な支援に対する感謝と、津波を乗り越えて復興していく被災地の今の姿を発信しています。

「てんでんこ」からはじめる

「津波の破壊力や震災の事実、命を守る数多くの行動など学べる部分がたくさんあります。その中でも見て、考えてほしいのは、ゾーン3-4の展示です。」と、同施設主査の佐々木清通さんは言います。

ゾーン3-4「未来をつくる」では、「『てんでんこ』からはじめる」と題し、最初に「命を守るために」自分を知り、自分に関わるみんなを考えていきます。そして、「共に生きる」「学び合う」「まちを一緒に作る」という3つの視点から、自ら行動できる事は何かを見つめていきます。また、展示の中には岩手県内で行われてきた・行われている様々な取組が写真やキーワードで紹介され、多くのヒントを見つけることができます。

「未来をつくる」の展示コーナーの最後には、こう書かれています。

あなたの行動が、未来をつくる
知恵と技術で備え、自ら行動することが重要



考えてみよう・調べてみよう・話し合ってみよう

- あなたが、伝承施設を訪れるとしたら、どのようなテーマで、何について調べますか。
- 地域にある「石碑」「伝承施設」等の場所や教訓を調べてみよう。
- 災害の教訓を生かすためには、何が必要か話し合ってみよう。

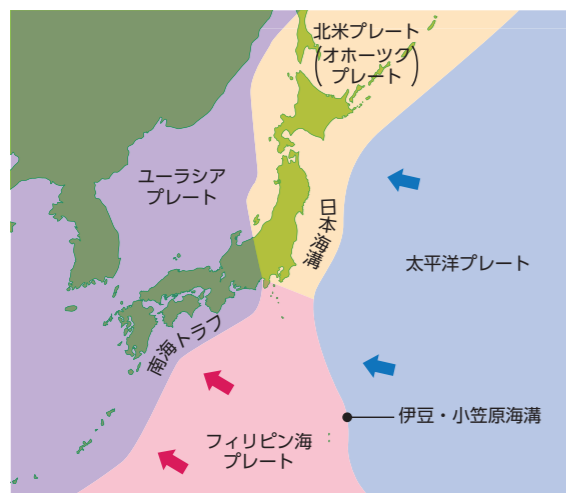


ゾーン3「教訓を学ぶ」



ゾーン4「復興を共に進める」

日本列島と周辺で起こる地震



日本列島周辺のプレート

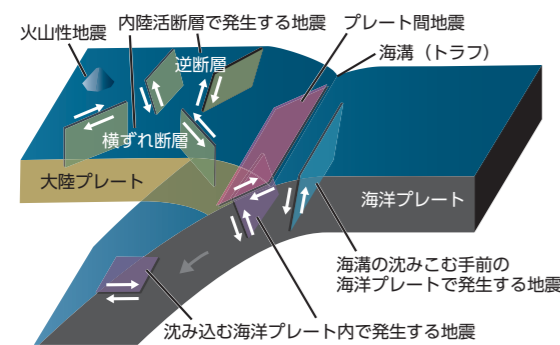
地球の表面は厚さ100km程度の「プレート」と呼ばれる硬い岩盤におおわれており、十数枚に分かれたプレート同士がぶつかったり、こすれあったりすることで地震や火山活動が引き起こされます。

日本列島の周辺には太平洋プレート、フィリピン海プレート、北米プレート、ユーラシアプレートの4つのプレートがあり、太平洋プレートは東から、フィリピン海プレートは南東から日本列島に向かって動き、北米プレート、ユーラシアプレートの下、地球の内部に沈み込んでいます。プレートが沈み込む部分に形成されるのが海溝やトラフです。

日本列島周辺の地震は次の4つに分類できます。

①プレート間地震(海溝型地震)：海洋プレートが沈み込んでいくときに大陸プレートの端を引きずり込むことでプレートにひずみが発生、このひずみが解放されるときにプレートの境目で岩盤が割れ(断層破壊)て起きる地震です。東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)はこのタイプです。

②海洋プレート内地震：海洋プレートの中で蓄積されたひずみが解放されるときに断層破壊が起きることで発生します。海溝やトラフで沈み込む前の海洋



日本列島周辺で起きる地震

プレートで発生する地震は、陸地から遠いのでゆれは比較的小さいのですが、発生した深さが浅く大規模な場合は津波を引き起こします。地球の内部に沈み込むプレートで発生する地震は、津波の心配はなく、被害も小規模の傾向があります。

③内陸活断層で発生する地震(内陸型地震)：大陸プレート中のひずみが活断層によって解放されるもので、兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)のように都市の直下で発生すると大きな被害が出ます。

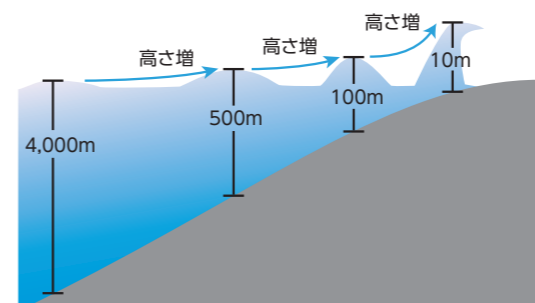
④火山性地震(群発地震)：群発して発生したり、周辺の火山活動と関係している場合もあり、火山噴火の前触れとなることもあります。

地震の被害としては、ゆれによる建物や道路などの破壊、広域火災の発生、斜面崩壊や山体崩壊と岩層なだれの発生、地盤の液状化、長周期振動による被害、津波による被害などが考えられます。

津波のしくみと被害

海底下で地震が起こると、断層の動きによって海底の地形が変化し、それが海水に伝わって津波が発

時速 700km (ジェット機並み) 時速 250km (新幹線並み) 時速 100km (自動車並み) 時速 36km (オリンピック短距離選手並み)



水深と津波の速さ

生じます。断層の動きがゆっくりなら明治三陸地震津波のように陸上では大きなゆれがなくとも津波がおそってきますし、地震が起きたのが遠い場所だったときはチリ地震津波のように津波だけが海を渡ってきます。

ふつうの波は、風によって海面近くの海水が動いているものですが、津波は海底から海面までの海水全体が大きなかたまりとして押し寄せるもので、比べものにならない破壊力があります。

陸地に近づくほど津波は遅くなり、そのかわり高

さが高くなります。さらに、後から押し寄せた波が次々と追いつき、積み重なるように高くなっていきます。また、海にむかってV字に開いている湾では、湾の奥に津波のエネルギーが集中し、場合によって湾口の数倍の高さになります。

津波による被害としては、津波そのものの破壊力や漂流物の襲来・浸水などによる人的被害・建物や道路などの破壊のほか、土砂移動(土地が削られたり土砂が堆積したりする)や塩水の侵入によるインフラや農業・水産業への被害、景観の破壊、津波火災などが考えられます。

火山噴火のしくみと被害

火山噴火は、地球の地下深くで溶けた岩石であるマグマが上昇してマグマだまりを作り、そこからさらに上昇して地上に近づくことで起こります。

マグマが直接地上にもたらされるマグマ噴火、マグマに熱せられた地下水が水蒸気となり周囲の岩石を破壊して噴出する水蒸気噴火、マグマが地下水に直接接触することでマグマと周囲の岩石が破碎されて噴出するマグマ水蒸気噴火など、火山噴火の様式には様々なものがあります。



2014(平成26)年の御嶽山噴火

火山噴火による被害としては、噴出した火山灰や噴石による被害、溶岩流による被害、溶岩のかけらをふくむ土砂が高速で流れ下る火砕流による被害、火山そのものが崩壊する山体崩壊による被害、火山灰が降り積もったところに雨が降ったり雪解け水が流れ込んだりして起こる土石流(火山泥流)による被害、火山ガスによる被害などが考えられます。



考えてみよう・調べてみよう

- あなたは、災害が発生した時、何を根拠にどの時点で避難を開始しますか。
- 震度が小さくても大津波が発生するのは、どのようなときか調べてみよう。

36 自然災害の歴史

噴火 地震 津波 風水害 火災

① **ベスビオ火山噴火** (1631年 イタリア) …紀元79年に火砕流により古代ローマ帝国の都市ポンペイを滅ぼした火山が、それ以来最大規模の噴火を起こし、約3,000人が犠牲に。

② **リスボン地震** (1755年 ポルトガル) …首都リスボン沖で発生したM8.5の地震。津波による死者約1万人を含め約6万2,000人が犠牲に。

③ **雲仙普賢岳の噴火** (1792年 長崎県) …溶岩流や火山ガスが噴出したほか、雲仙普賢岳東側の眉山が崩れて津波が発生、約1万5,000人が犠牲に。

④ **明治三陸地震津波** (1896年 岩手県) …現金石市の東方沖約200kmを震源としたM8.2～8.5の地震で約38.2mの津波が発生、死者・行方不明者2万1,959人。

⑤ **プレー火山噴火** (1902年 フランス領西インド諸島) …中南米のマルティニーク島にある火山が噴火、当時人口約2万8,000人の県庁所在地サンピエールが全滅。

⑥ **サンフランシスコ地震** (1906年 アメリカ) …サンフランシスコを襲ったM8.3の地震。高層建築が倒壊、広域火災は3日間におよぶ。

⑦ **メッシーナ地震** (1908年 イタリア) …地中海に浮かぶシチリア島を震源としたM7.2の地震。津波も発生、約8万2,000人が犠牲に。

⑧ **海原地震** (1920年 中国) …中国中央部の海原県で発生した内陸地震としては世界最大級のM8.6の地震。約23万5,000人が犠牲に。

⑨ **関東大地震〔関東大震災〕** (1923年 関東地方) …相模湾北西部を震源にM7.9の地震が発生。広域火災も発生し関東一帯で死者・行方不明者は14万2,000人以上。

⑩ **昭和三陸地震津波** (1933年 岩手県) …現金石市の東方沖約200kmを震源としたM8.1の地震で、明治三陸地震津波と同様大きな津波が発生、死者・行方不明者は3,064人。

⑪ **エルジンジャン地震** (1939年 トルコ) …トルコ東部のエルジンジャン県でM7.8の地震が発生し、約3万3,000人が死亡。

⑫ **アシュカバード地震** (1948年 トルクメニスタン) …トルクメニスタンとトルコの国境付近を震源にM7.3の地震が発生。少なくとも2万人が死亡。

⑬ **伊勢湾台風** (1959年 近畿・東海地方) …紀伊半島から東海地方を中心に全国にわたって大きな被害。死者・行方不明者5,098人。

⑭ **チリ地震** (1960年 チリ) …史上最大となるM9.5の巨大地震。首都サンティアゴが壊滅状態になり、日本にまで大津波が到達。

⑮ **ペルー地震** (1970年 ペルー) …ペルー北部のアンカシュ県で発生したM7.8の地震。山脈の一部が氷河とともに崩れ都市を直撃、約6万7,000人が犠牲に。

⑯ **ボーラ・サイクロン** (1970年 バングラデシュ) …30～50万人が死亡したとされる史上最大級のサイクロン被害。対応をめぐって内戦勃発、バングラデシュ独立のきっかけに。

⑰ **グアテマラ地震** (1976年 グアテマラ) …中米グアテマラを襲ったM7.5の地震。余震と地滑りが多発し、約2万3,000人が犠牲に。

⑱ **唐山地震** (1976年 中国) …河北省でM7.8の地震が発生。工業都市として発達していた唐山市が壊滅状態に。死者は24万人を超え中国で過去最悪の地震災害に。

⑲ **セントヘレンズ火山噴火** (1980年 アメリカ) …ワシントン州で起きた火山噴火・山体崩壊。激しい爆風や火砕流で57人が死亡。

⑳ **メキシコ地震** (1985年 メキシコ) …M8.0の地震。首都メキシコシティの軟弱な地盤で多くの高層住宅が崩壊、1万人近くが犠牲に。

㉑ **ネバドデルルイス火山噴火** (1985年 コロンビア) …火山泥流が発生。ふもとの町アルメロを直撃し、犠牲者は2万5,000人以上に。

㉒ **ピナツボ火山噴火** (1991年 フィリピン) …20世紀最大級の噴火。大量の火山灰が東南アジア一帯に降り注ぎ、経済や生活に影響。

㉓ **兵庫県南部地震〔阪神・淡路大震災〕** (1995年 兵庫県) …野島断層を震源とするM7.3の地震。死者・行方不明者6,434人。

㉔ **グジャラート地震** (2001年 インド) …内陸直下型のM7.7の地震。強い揺れで、主に建物の倒壊で約2万人が犠牲に。

㉕ **スマトラ島沖地震・インド洋大津波** (2004年 インドネシアなど) …M9.0の地震により大津波が発生。インド洋沿岸に被害をもたらし、27万人以上が犠牲に。

㉖ **サイクロン・ナルギス** (2008年 ミャンマー) …発達したサイクロンがミャンマー南部を直撃。死亡・行方不明者は約14万人。

㉗ **四川大地震** (2008年 中国) …M8.0の地震。レンガ造りの家屋や学校などが多数倒壊し、約8万3,000人が犠牲に。

㉘ **ハイチ地震** (2010年 ハイチ) …M7.0の地震。不安定な社会情勢のなかで被害が拡大、死者30万人を超える史上最大規模の地震災害に。

㉙ **タイ洪水** (2011年 タイ) …チャオプラヤー川が氾らん。浸水被害は首都バンコクまで広がり、大きな経済的打撃を受けました。

㉚ **東北地方太平洋沖地震〔東日本大震災〕** (2011年 東北地方・関東地方太平洋岸) …三陸沖で発生したM9.0の地震は巨大大津波を発生させ、死者・行方不明者2万2,288人に。

㉛ **台風30号・ハイエン** (2013年 フィリピン) …猛烈な勢力でフィリピン中部のレイテ島などを直撃。高潮も発生し6,000人が犠牲に。

㉜ **ネパール地震** (2015年 ネパール) …カトマンズ北西で発生したM8.2の地震。建物倒壊、雪崩、土砂災害などで約9,000人が犠牲に。

㉝ **ハリケーン・ドリアン** (2019年 バハマなど) …瞬間最大風速80m以上の史上最大級のハリケーン。バハマ国民の2割近くが被災。

㉞ **オーストラリア森林火災** (2019～2020年 オーストラリア) …乾燥・高温・強風で世界史上最大級の森林火災。日本の半分にあたる面積を焼き、鎮火には240日以上かかった。



調べてみよう・やってみよう

- 自然災害後、どのように復興しているか調べてみよう。
- 地図で、災害が発生した場所を確認してみよう。

いきる

かかわる

そなえる

いきる

かかわる

そなえる

37 分断された岩泉町 —平成28年台風第10号—

「その時、突然ガシャーンと国道に面した玄関のガラスが割れ、水が入ってきました。【中略】まず、高齢の女性が一人で暮らしている、道路向かいの鉄骨造りの家に向かおうと考えました。しかし、すでに道路はひざの深さの激流で、隣の家の男性と息子さんが、私を止めました。」

これは、2016(平成28)年8月30日に上陸した平成28年台風第10号で大きな被害のあった岩泉町の岩泉地区・乙茂に住む熊谷敏子さんの証言です。急激な増水で避難が間に合わなかったことがわかります。

岩泉町の8月26日～31日の総降水量は285.5ミリ、1時間降水量の最大値は30日18時21分の70.5ミリ、共に観測史上最大でした。町の各所で土砂災害・浸水害がほぼ同時に起こり、小本川ぞいの高齢者グループホームには濁流が流れ込み、高齢者9人が亡くなりました。岩泉地区・二升石付近で国道455号が崩壊して町が東西に分断され、道路の寸断は主なものだけで40か所以上。土砂災害・浸水害は各地域の孤立をもたらし、救助や復旧活動は困難を極めました。

「31日は、二升石が孤立していた上に、およそ2割の世帯は地区内でも孤立していました。そのため、重機を持っている人は8時ごろから自主的に流木や土砂の撤去作業を開始していました。【中略】20人ほどで作業し、私はトラクターで流木などを取り除きました。流木は土砂混じりで、チェーンソーで切るとすぐ切れ味が悪くなり、何台も各世帯から用意して使いながら、橋は何とか31日に通れるようになりました。」



台風上陸の翌朝、国道455号岩泉橋付近

岩泉地区・二升石に住む三上幸政さんの証言です。困難な状況の中で、人々は手持ちの手段を総動員して災害に立ち向かいました。それでも9月2日時点で428世帯873人が孤立状態、8月30日時点で町指定避難所に677人が避難していました。全ての孤立解消には19日までかかり、最後の避難所が閉鎖されるには12月26日までかかったのです。

平成28年台風第10号 岩泉町の被害				
死亡者数	25人 (関連死4人含む、2019年3月末現在)			
建物被害 うち	1,916棟 (2018年3月27日現在)			
	全壊	大規模半壊	半壊	半壊に至らず
	住家	453	236	255
非住家	536	298	73	24
停電	最大約9,050戸			
断水	最大3,513戸			
通信	約2,000回線が通信不能			
交通	JRバス早坂高原線・町民バスは運休 三陸鉄道宮古～普代間は被災3日後から代行バス運行			
被害総額	約420億円 (県管理施設含む、2018年3月末現在)			

(出典：『平成28年台風10号豪雨災害「復旧の記録」ふるさと岩泉の再生へ』『平成28年8月30日 台風10号豪雨体験談の記録集—この体験を未来へ—』岩泉町)



調べてみよう

- 1時間当たり70.5ミリとは、どのような雨なのか調べてみよう。

38 すべてが止まったら、どうする？ —ライフライン—

大切な水を貯める・使う

人間は、1人で1日あたり3Lの水分を必要とします。飲料水の備蓄としては3日分、つまり4人家族なら3×4×3=36L、2Lのペットボトル18本分が最低限必要です。

補充しながら消費するローリングストック法か、水道水のくみ置きで備蓄しましょう。清潔な容器の口元いっぱいまで水道水を入れてふたをしめ、直射日光を避ければ、3日程度は飲料水として使えます(浄水器を通すと塩素の消毒効果がなくなるため、毎日くみ替えが必要です)。

トイレや洗濯・掃除のための水としては、平均的な風呂の場合で約180Lの水がため置きできます。断水していても排水ができるトイレなら、(和式なら排水レバーを押しながら)バケツ一杯の水を勢いよく流せば排泄物を流せます。排水できない場合、便座を上げポリ袋ですっぽり覆い、別のポリ袋を便座の上からかぶせ、細かく砕いた新聞紙を入れれば簡易トイレになります。

食事では食器をラップで包んで使い、毎回ラップを捨てるようにしたり、ペットボトルや牛乳パックを、皿やコップなどとして使って捨てるようにすれば、洗い物に使う水を節約できます。



東日本大震災での長岡京市による応援給水活動(陸前高田市)

ガスや電気が使えなくなったら

ガスが止まったとき、カセットコンロとボンベ、あるいはキャンプ用のコンロ(バーナー)があれば簡単な調理が可能です。冬季の場合、ガスを用いない暖房器具があると安心です。

停電では、明かりになる懐中電灯やマッチとろうそく・ランプなどが必要です。エアコンや換気扇は使えませんから、ストーブやコンロを使うときは換気に注意してください。

情報収集のため、電池や手回し発電で使えるラジオ、携帯電話の予備電池やモバイルバッテリーも必要ですし、車から電源を確保できるシガープラグがあると便利です。

スマートフォンのバッテリー節約の方法としては、①災害が起きたら省電力モードをオンにする、②液晶画面をできるだけ暗く設定、③アプリ通知を切る・ロック時間を短くする、④圏外になったら(携帯電話サービス自体が止まったら)機内モードにする(利用できるWi-FiがあればWi-Fiで接続する)、の4つがあります。



考えてみよう

- あなたは、災害時、飲み水を確保するためにどうすればいいと思いましたか。

39 災害時の情報と心理

「拡散希望」を拡散しない

〇〇石油の爆発により有害物質が雲などに付着し、雨などといっしょに降るので外出の際は傘かカッパなどを持ち歩き、身体が雨に接触しないようにして下さい

上記は東日本大震災のとき、メールやSNSで広まった情報の1つです。全くのデマでした。

この例だと、避難すべき人が雨で外に出なくなる、救援部隊に雨具を用意しなければなくなる、地震直後でつながりにくい回線がデマを拡散する通信のせいでさらにつながりにくくなる、といった悪影響があります。デマは被災者・救援現場・通信ネットワークに無用な負担を強めます。

インターネットは、災害時の安否確認、災害情報・救急救命情報の収集、支援要請の発信などで大きな役割を果たす一方、①誰でも発信できるため情報の出所がわからない、②転送(拡散)を繰り返していく途中で内容が改変されることがある、③その情報を広める必要がなくなっても止めるのが難しい、という特徴からデマや不確実な情報を広めてしまいやすいという欠点があります。

デマを防ぐには、①うのみにしない、②拡散しない、③すぐに行動につなげない、④政府や自治体のサイトなどで正確な一次情報を確認する、という姿勢が重要です。

2つのバイアス*を乗り越えて

東日本大震災のときの避難行動について、国が岩手・宮城・福島の3県の沿岸地域で県内避難をしている人を対象として調査した結果、実に41.5%の人が地震の後すぐには避難していませんでした。「地震の後には津波」「津波でんでんこ」といった知識があっても、「多数派同調バイアス」「正常性バイアス」によっていざというときに人間は行動を起こさないことが多いのです。

「多数派同調バイアス」とは、判断を迷ったときにまわりの人と同じ行動をとることが安全と考える心の働きです。まわりの人がだれも避難しないと、人は避難しにくいのです。

「正常性バイアス」とは、経験したことのないことが起きたとき「こんなことは起こるはずがない」「何かのまちがいだ」と感じ「異常事態は発生していない。まだ正常」と思ってしまう心の働きです。異常なことは、だれも起きてほしくはないのです。

どちらもふだんの社会生活のためには必要なバイアスですが、災害時にはこの2つを乗り越えなければなりません。防災訓練などで「率先避難」の重要性が強調されるのはそのためです。

*:「バイアス」とは「かたより」という意味。人の心には「みんながやっているんだから」と多くの人が言っていること・やっていることをよく考えないで「正しい」と思ってしまう「多数派同調バイアス」や、災害などのとき「まさかそんなことが」と自分にとって都合の悪い情報を無視したり軽視したりする「正常性バイアス」などの「かたより」がある。



考えてみよう

- あなたは、どのようにして、正確な情報かそうでないか判断しますか。

40 あなたに助かってほしいから

東日本大震災のとき、齊藤賢治さんが撮影した大船渡市に押し寄せた津波の動画は、テレビニュースや動画サイトで公開され、大きな反響を呼びました。今、齊藤さんは大船渡津波伝承館の館長として、防災の大切さをうたえています。

暮らしと命を災害から守る情報を発信

震災後、ある新聞記事を見て齊藤さんはショックを受けました。犠牲になった多くの人が逃げなかつたり、逃げる途中であつたり、自宅などに戻ったという記事です。

「私がいち早く避難できたのは、昭和の大津波で九死に一生を得た父親から何度も津波のこわさを聞かされていたから。」と言う齊藤さんは、津波のこわさを多くの人々に知ってもらう必要性を痛感したと言います。こわさを知らなければ、備えることも避難することもできないからです。

こうして、映像や語り部を通じて津波の脅威と経験を後世に伝えていく大船渡津波伝承館が立ち上げられました。大船渡津波伝承館では、地震直前の大船渡市街や津波の脅威を物語る写真・動画の展示、語り部による伝承活動を行っています。子どもたちがわかりやすいように「防災紙芝居」も制作しました。全国各地に出張しての活動もめずらしくありません。

その取組の1つが「防災・減災コンテスト」です。

このコンテストは、被災地の復旧・復興支援、災害に強い町づくり支援など活動実績のある団体の取組を防災・減災の観点から発表し合うもので、さまざまな団体がノウハウや課題を共有し、ネットワークをつくり、将来起きうる災害の防災・減災につなげること、そして将来的には、全国・全世界に人々の暮らしと命を災害から守る情報を発信することを目的としています。

2019(平成31)年2月に開催された「防災・減災コンテスト2018」では、復旧が進む街並みを記録する定点観測や、地域の防災訓練に参加する防災・町づくりなどの活動を発表した岩手県立大槌高校復興研究会が最優秀賞を受賞しました。

大船渡津波伝承館は、JR大船渡駅前の「大船渡市防災観光交流センター」を拠点として活動を続けています。

その展示ゾーン入口には右の写真のプレートが掲げられています。



大船渡市防災観光交流センター内での展示、防災紙芝居の上演、防災・減災学習まち歩きなどの活動を実施



展示の入口に掲げられたこの言葉は、大船渡津波伝承館のポリシー



調べてみよう

- 過去の災害を経験した人から当時のようすを聞き、どのような備えが必要か、調べてみよう。

41 より良い避難所運営のために

八幡平市立西根第一中学校では、DIG^{*1}実習やHUG^{*2}実習を経て、2019(令和元)年10月26日に、全校で避難所運営実習を行いました。目標とする「スムーズかつよりよい避難所生活のための運営」になるよう、取組ました。

想定は「岩手山が噴火し、大地震が発生した」

災害の想定は、岩手山が噴火し、大きな地震が発生したというものです。それにより、停電、ガス遮断、断水が発生、トイレが使用できなくなりました。そのため、避難所を開くことになりました。また避難所(今回は体育館)の備蓄食料や避難所備品は後から届くことになっており、実際に八幡平市で災害が起きた際に生じる状況が設定されました。これにより、避難所運営実習がスタートしました。

避難所運営訓練手順

①避難所設営

避難所を運営するのは3年生です。3年生たちはすぐに避難所の設営に取りかかりました。分担に従い手順よく作業し、約10分で避難所ができました。



手際よく避難所設営

②避難者受付

避難所設営と同時進行で、避難者の受付も行いました。避難者は1・2年生と、地域の方や小学生です。噴石で頭をけがした住民などがやってきました。



頭をけがした避難者の対応

③避難者誘導

誘導係は、受付が済んだ住民をけがなどの程度によって、横になれるエリアや応急処置を施すエリアに誘導し、腰を痛めている避難者は簡易担架を作成して搬送しました。

④救護

救護衛生班は止血が必要な避難者に対して包帯を巻いたり、骨折している避難者に対してはそえ木をあてて固定するなどの処置をしました。妊婦さんが来たときには寝ているか、座っているかなど優しい対応をしていました。小さな子どもには不安を取り除くよう、にこやかに声かけをしていました。

⑤避難所本部

避難所中央に本部を設置し、避難者の集約を行いました。ホワイトボードに避難者の氏名と世帯番号が地区ごとに記載され、状況が把握しやすく、要望にも対応できるようになっていました。



簡易担架で搬送

⑥柔軟な対応

運営を担当した3年生たちは、避難者が要望を出しやすく、またそれに迅速に答えることができるように、自分ができること・得意なことを書いた紙を背中に貼りました。中には「英語が話せます」と外国人にアピールした人もいました。



ホワイトボードで地区ごとに避難者を把握

振り返りの活動

運営実習の終了後、運営側の3年生は、避難者役の1・2年生から感想を聞きました。1・2年生からは、「声かけがいい対応だった。」「けがの対応が優しかった。」と高評価もあり、一方、「本部はこわい顔だった。」「まくらが届かなかった。」など課題の指摘もありました。

次回は避難者役を経験した2年生が運営を担います。運営の仕方を見て避難者役を経験することで、年々無駄がなく、スムーズな運営ができるようになっていきます。

*1: DIG...DIGはDisaster(災害)、Imagination(想像力)、Game(ゲーム)の頭文字を取ったもので、地図を使って防災対策を検討する訓練のことです。

*2: HUG...HUGはHinanzyo(避難所)、Unei(運営)、Game(ゲーム)の頭文字を取ったもので、「避難所運営ゲーム」のことです。避難所に見立てた紙の上に避難者の年齢・家族構成・持病などの情報を書いたカードを配置し、ゲーム的に避難所運営を学ぶことができます。



背中の貼り紙でできることを示す



振り返りの活動でスムーズな運営を目指す



考えてみよう・話し合ってみよう

- あなたは、避難所で生活することになったとしたら、どのようなことができますか。
- 災害に備えて、避難所にはどのようなものを準備しておいたらよいか話し合ってみよう。

42 地元は自分たち中学生が守る！

岩手町立川口中学校では、「自分たちが川口を守る」という決意のもと、3年間を通じて防災学習を行っています。

1年生は「災害を知る」学習

1年生の2学期、3学期に防災センター学習、川口の地形についての学習、水堀地区の水害についての学習をしました。矢巾の防災センターでの避難訓練では、建物の2階から救助袋を使って下に降りました。また、震度7の揺れや、煙につつまれた部屋を抜ける煙体験などもしました。生徒たちは「ふだんできない体験をしたので、今後の生活に生かしたい。」と話していました。



震度7を体験。こわい！

2年生は「地域を理解する」学習

2年生の5月には、宿泊研修で岩手県沿岸部を訪問します。被災地エコツアーで被害の状況を見学したり、漁業体験を通して復興していく様子を体験したりしました。また、3学期には、立体の地形モデルを使って、「未来の町づくり」を学習します。災害の起こりやすい地域への防災対策や、自分達の町にあったらいいと思う施設をブロックでつくりながら未来の川口についてみんなで考えます。



「未来の町づくり」の学習

3年生は「地域を守る」学習

3年生の9月には、キャップハンディ体験をしました。実際に車いすに乗ったり、高齢者体験をしたりすることで、すごく不自由なことがわかりました。

3年生はまた、3年間の防災学習を各自が新聞にまとめて発表しました。そして自分たちが経験してきたことをもとにして、川口小学校で出前授業をしました。児童たちからは、お礼の言葉とともに「くぼみがあったり、段差があったりして、ぼくたちも転んでしまう危険があることが分かった。」「これからの災害に備えて避難訓練などが必要だと思った。」「みなさんはもうすぐ中学生になります。もし何かあったときにたよる側でなく、たよられる側になります」と言っていた言葉が心に残った。」などの感想がありました。



防災出前授業を行う3年生たち



調べてみよう・話し合ってみよう

- 修学旅行や宿泊研修等で訪問する地域で考えられる災害を調べてみよう。
- なぜ、避難訓練を行っているか話し合ってみよう。

43 家族と一緒に災害に備える

遠野市立遠野中学校の1年生が、地域の危険な場所を家族と一緒に確認する取組をしました。この調査でどんなことがわかったのでしょうか。

平成28年台風第10号がきっかけ

遠野市は東日本大震災の時に、被災地への後方支援を積極的に行いました。そのため遠野市の防災意識は高く、市の防災マップには地図だけでなく災害対策についての様々な情報も掲載されています。

2016(平成28)年に発生した平成28年台風第10号は、岩手県に大きな被害をあたえました。遠野中学校がある地域では大きな被害はなかったものの、市の防災マップには洪水災害エリア、急傾斜危険エリア、土石流危険渓流などに該当する部分があります。そのため遠野中学校ではあらためて自然災害への備え、そして防災意識を高めることを目指しました。

家族と共に危険箇所を調査

2017(平成29)年、遠野中学校1年生は週末を利用して家族と一緒にフィールドワークを行い、「危険箇所調査」をしました。ある地区では街灯が少なく見づらいため土手から転落する可能性がある箇所や、左右の見通しが悪い交差点、道が狭くて歩道がない場所、さらにはカーブミラーが壊れている場所がありました。

調査結果を学校に持ち寄り、調べた危険箇所を地図に色分けして記録しました。その結果、普段生活している場所でも危険と思われる場所が多く存在しました。この地図をもとに、どう行動したらよいか班で話し合い、さらに学級で発表しました。作成した地図はいつでも確認できるように廊下に掲示しました。

東日本大震災からほぼ10年がたち、震災の記憶は風化しつつあります。特に、被害の少なかった内陸地方はその傾向が強いです。地域の危険箇所を調べたり、災害時の避難方法を考えるなど、防災意識を高める取組を今後も継続していく必要があります。



「危険箇所調査」で生徒が撮った早瀬川の河川敷の写真。「大雨のときの増水」「街灯が少ないため暗いときは土手から落ちそうになる」などの危険が存在



調べてきた自分の地区の危険箇所を拡大した地図に色分けして記録、危険や安全確保の方法を話し合うようす



調べてみよう・やってみよう

- 家族や地域の方々から、過去の災害や危険箇所などを聞き取り、まとめてみよう。
- 地域のハザードマップで、危険箇所を確認し、避難する場所を確認してみよう。

44 レスキューフーズ【カレーライス】で非常食体験

釜石祥雲支援学校小学部、中学部は2019(令和元)年9月2日、火も水も使わないレスキューフーズ【カレーライス】を食べました。味はどうだったでしょうか。

事前学習で防災の学びを振り返る

当日は合同朝会で、非常食体験について説明し、さらにそれまで避難訓練で行ったことなど、防災の学びを防災クイズで振り返りました。防災クイズは、次のような2択の問題です。

例1：9月1日は何の日？ ①救急の日 ②防災の日

例2：火事を見つけたら、どうすればいいかな？ ①あぶないからだれもよばない ②大きな声でまわりの人に知らせる

また、1年に3回行っている避難訓練のことも復習し、「おさない」「はしらない」「しゃべらない」「もどらない」の「ひなんの約束【お・は・し・も】」を確認したりしました。

レスキューフーズ【カレーライス】を試食する

やけど等の安全面を考えて、ほとんどのカレーは先生方が準備しましたが、小3と中3の二人は、先生と説明書を確認しながら、実際に作りました。作り方は、こうです。

- ①箱から食品や発熱剤を取り出すが、断熱用ダンボールは箱の下に敷いたままにする。
- ②発熱剤を袋から取り出し、加熱袋の底に入れる。
- ③発熱剤の上に食品を入れ、袋ごと箱に入れる。
- ④発熱溶液を袋に注ぎ、加熱袋のチャックをしめる。
- ⑤約20分加熱させてから、約10分むらす。紙ナプキンを使って取り出す。
- ⑥ご飯をほぐし、片側に寄せ、あいたところにカレーを入れる。

これで完成です。完成したカレーのほかに水と備蓄してある乾パンを用意して、試食しました。味がよく、ほとんどの生徒が満足しました。

非常食体験後の反省として、「非常食体験で用意したカレーは備蓄してあるカレーよりも値段が高いので味がよい。備蓄してある食料で体験する必要があるのではないか。」「小学部高学年、中学部はカレーライスだけでは物足りなさそうだった。」などの意見が出ていました。



おいしく、たけたかな

話し合ってみよう

- 非常時に備えて、どのようなものを準備しておいたらよいか、話し合ってみよう。

45 災害ボランティア講習会で学ぶ

九戸村立九戸中学校 JRC* 委員会は、万が一のときに備えて、毎年「災害ボランティア講習会」にて炊き出しや救命の訓練に参加しています。 (* JRC : P41 を参照)

防災に関する基礎知識を身に付け、ボランティアへの関心を高める

九戸中学校 JRC 委員会では、九戸村社会福祉協議会が主催している災害ボランティア講習会に参加しています。この活動を通して、自然災害が発生した時に適切な対応ができるよう、基礎知識を身につけるとともに、日ごろからボランティア活動に対して高い関心をもつことの必要性を学んでいます。講習会の内容は「炊き出し訓練」、「防災についての講話」、「救命講習」の3つです。

◆炊き出し訓練

災害ボランティア講習会は、炊き出し訓練から始まります。九戸村赤十字奉仕団の指導のもと、包装食袋を使ってご飯を炊きます。この袋は縦30cm、横10cmほどの強化ポリエチレンでできた袋で、沸騰したお湯の中でも有害物質を出しません。この特殊な袋に米と水を入れ、大きな釜の中に入ったザルにたくさん並べます。釜の中の沸騰したお湯に30分ほど入れそのあと蒸らすとご飯が炊けます。この方法では大量にご飯が炊けて炊飯道具などもいらないので、貴重な水を大量に使用できない災害場所や避難場所で非常に役に立ちます。

〈包装食袋を使ったごはんの炊き方〉

- ①大きな鍋にたっぷりのお湯を沸騰させて準備する。
- ②袋の中に米を1合入れる。
- ③米と同量の水を入れる。好みに応じて調味料を入れてもよい。無洗米を使う時は15%~20%水を増やす。
- ④袋の空気をぬき、輪ゴムでしっかり結ぶ。
- ⑤沸騰した湯の中で30~40分を煮る。(鍋の中に複数入れてOK)
- ⑥鍋から出して5~10分むらして完成。



袋の中に米を1合



沸騰した湯の中で30~40分煮る

◆救命講習

炊き出し訓練の後、消防署の方から防災についての講話を聞き、その後AEDによる救命講習を体験しました。参加した生徒は、「心肺蘇生の時に力を入れるのが難しい。」「実際の現場でうまくできるか不安。」「小学校で習ったけど忘れていたところがあるから今回参加できて良かった。」と感想を話していました。



AEDの実習

調べてみよう

- 負傷者の状態に応じ、どのような応急手当ができるか調べてみよう。